if brand

Trywin

取扱説明書(保証書付)
車載用地上デジタルチューナー
DTF-9000

地上 DIGITAL　1seg ワンセグ

保証書添付

このたびはトライウイン車載用地上デジタルチューナーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に『安全上のご注意』(P3 ～ P6) は、ご使用の前に必ずお読みいただき安全にお使いください。
- お読みになった後は、いつでも取り出せるところに巻末の『保証書』とともに大切に保管してください。

事故防止のため、運転中は絶対にテレビを見たり、操作をしないでください。
この商品は、海外ではご使用になれません。 For use in Japan only.

商標と著作権

① 本書の内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
② 本書の内容および含まれている情報は、予告なく変更されることがあります。
③ 本書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
④ 本書内で指示されている内容には、必ず従ってください。本書に記載されている内容を無視した行為や誤った操作によって生じた障害および損害については、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。

本書に記載の社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

お使いになる本人や周辺の人々への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りください。
製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫ることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

⚠ 危　険

本機を運転時に視界を妨げる場所やハンドル、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所、運転に支障を来たす場所、同乗者に危険をおよぼす場所などに取り付けない

交通事故や怪我の原因となります。

エアバックの動作を妨げる場所には絶対に設置しない

エアバックが正常に動作せず事故や怪我の原因となります。

走行中に運転者が操作をしたり、テレビを見たりしない

走行中に操作をすると、事故の原因となります。操作は安全な場所に停車して行ってください。

取り付け配線後は車の電装品が正常に動作することを確かめる

車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電事故の原因となります。

⚠ 警告

DC12V マイナスアース車で使用する

本機は DC12V マイナス・アース車専用です。
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車（DC24V）には使用できません。火災や故障の原因となります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けない

禁止

傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中に落下するなど事故や怪我の原因となることがあります。

外れたり落下しないように付属の面ファスナーでしっかり取り付ける

取り付け部の接着が弱いと走行中に外れる、落下するなど、事故や怪我の原因となることがあります。

使用しないコードの先端などは、絶縁する

被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートしないと火災や感電の原因となります。

配線取り付け作業中は必ずバッテリーのマイナス端子を外す

バッテリーのマイナス端子を繋いだまま配線、取り付け作業をするとショートして感電や怪我の原因となります。

車のパイプ類、タンク電気配線などの位置を確認して取り付ける

車体やダッシュボードに穴を開けて取り付ける場合はパイプ類タンク、電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部の錆止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電の原因になります。

正しく配線を行う

誤った配線をすると発火や事故の原因となります。特にリード線がねじやシートレールの可動部分にかみ込まない様に整形して固定してください。

コード類は運転や乗り降りの妨げにならないようにする

ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつかないように引き回し、固定してください。事故や怪我の原因となります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

禁止

ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付ける事故の原因となります。

パーキング・ブレーキ・コントロールの配線を正しく行う

安全機構が働かないと交通事故の原因となります。

⚠ 警 告

分解や改造はしない

内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。内部の点検、調整修理はサポートセンターにご依頼ください。

異物をいれない

この機器の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

故障や異常のまま使用しない

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、煙が出なくなるのを確認してサポートセンターに修理をご依頼ください。

電池などの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

電池を取り外した場合は、乳幼児の手の届かないところへ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

必ず規定容量のヒューズを使用して交換は専門技術者に依頼する

規定以外のヒューズを使用すると火災や故障の原因となることがあります。ヒューズの交換はお買い上げの販売店などの専門技術者にご依頼ください。

本体の通風孔を塞がない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

走行中は適正な音量で使用する

車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は事故の原因となることがあります。

車載以外には使用しない

車載以外（例えば、レジャーボートやアウトドアなど）に使用すると発煙、発火、感電やけが、故障の原因となる場合があります。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や本体には触れない

感電の原因となります。

本体やリモコンをぬらさない

火災・感電の原因となります。
万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切りサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

リモコンを放置しない

運転中に足元に転がってブレーキペダルの下へ入り込むと運転を妨げて交通事故の原因となります。

⚠ 注 意

配線・取り付け／取り外しは専門技術者に依頼する

取り付けと配線は専門的な技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

リモコンは直射日光、高温の場所を避けて保管する

ケースの変形、内部電池の破裂、液もれの原因となることがあります。

電池の極性表示（プラスとマイナスの向き）を確認してからリモコン内に挿入する

間違えますと電池の破裂、液洩れにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は事故の原因となることがあります。

必ず規定容量のヒューズを使用して交換は専門技術者に依頼する

指定以外の部品を使用すると機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずに外れるなど事故や故障、火災の原因となることがあります。

高温になる場所などに取り付けない

禁止

窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

車のバッテリーから電源を取っている場合はエンジンを停止したままで長時間使用しない

禁止

車のバッテリーが上がる恐れがあります。

コードをかみ込ませたり引っ張ったり、傷つけない

禁止

ショートや単線により発火や故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で、電池の出し入れをしない

濡れ手禁止

火災・感電の原因となることがあります。

禁止

不要になった電池を廃棄する場合は、各地方自治団体の条例や指示に従って処理してください。

取り扱い上のご注意

取り付けについて

ご注意

- **配線取り付け／取り外しは専門技術者に依頼してください。取り付けと配線は専門的な技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。**

- 本機を取り付けるときは運転の支障にならないようにご注意ください。
- 自動車内は非常に高温になることがあります。ダッシュボードの上、ヒーターの通風口、カーペットの下など高温が予想される場所には設置しないでください。
- 本機を置くときは横向きや斜めにならないように水平な場所に設置してください。

お使いになるときは

- エンジンをかけてご使用ください。
  エンジンを止めた状態で長時間使用すると、バッテリーが消耗します。
- リモコンの置き場所にご注意ください。
  リモコンがブレーキペダルの下などに挟まると運転に支障をきたす恐れがあります。
- 走行中は運転者が外の音を聞き取れるような音量に設定し、後部座席などでご使用ください。
- 正しく接続された場合、本機はパーキングブレーキの ON/OFF と連動します。必ず車を停止させてから視聴してください。

お手入れ

- お手入れをするときはエンジンを完全に切った状態にし、柔らかい布で拭いてください。汚れのひどいときは、家庭用中性洗剤を薄めてしみ込ませた布で丁寧に拭き取ってください。

デジタル放送の受信について

- デジタル放送では受信状態が悪くなると音声が途切れたり、画像が止まったり、またはブロックノイズが出たりすることがあります。
- 車の移動で受信するため、家庭用の受信機に比べ、受信エリアが狭くなり、車の場所や位置により受信しにくくなることがあります。
- 番組にコピーガードが掛かっている放送を録音機器を通してモニターに接続すると、正常に受信できないことがあります。本機はモニターテレビに直接接続してください。
- 本機の受信周波数帯域（470MHz ～ 770MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を本体やアンテナ、アンテナ・ケーブルの近くで使用すると映像や音声に不都合が生じることがあります。その場合はそれらの機器を離してご使用ください。

免責事項

- 本製品の使用または使用できなかったことによって生ずる付随的な損害に関して、当社はいっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機を修理する為にお預かりした場合、お客様の入力した個人データなどは消去されることがあります。
- 本機を日本国外で使用した場合、業務用（バス、タクシーなど）に使用した場合は保証の対象外となります。

もくじ

はじめに

安全上のご注意 **3**
取り扱い上のご注意 **7**
本製品について **9**
商品構成 **9**

準備

各部の名前 **10**
リモコン 10
本体 11
ご使用の前に **12**
B-CAS カードの挿入 **13**
挿入のしかた 13
B-CAS カードについて 13
B-CAS カード取扱上のご注意 14
リモコンの準備 **15**
リモコンをご使用になる前に 15
リモコン用電池の取り換えかた 15
リモコン操作をするには 16
電源をオン／オフするには **17**
電源をオンにする 17
電源をオフにする 18
初めてお使いになるとき **19**
放送局を登録する 19

基本操作

テレビ放送を見るには **21**
テレビ視聴について 21
チャンネル上／下（▲/▼）ボタンを押して
チャンネルを順に選ぶとき 21
数字ボタンを押して直接チャンネルを
選ぶとき 22
3 桁のチャンネル番号を入力して
チャンネルを選ぶとき 22
受信できなくなったときに自動で中継局を
探す 24

便利な機能

いろいろな操作 **25**
番組の情報を表示する 25
番組表を表示する 26
字幕の表示／非表示を切り換える 27
音声を切り換える 27
受信モードを切り換える 28
本機の設定を行う **29**
メニュー画面を表示する 29
初期スキャンを行う 30
再スキャンを行う 32
中継局サーチの設定をする 34
移動先を設定する 35
受信モードを設定する 36
アンテナ受信レベルを表示する 37
チャンネル一覧を表示する 38
リモコンの設定を変更する 39
映像の表示形式を設定する 41
字幕の表示／非表示、言語設定をする 43
文字スーパーの表示／非表示、
言語設定をする 44
本機のバージョンを表示する 45
B-CAS カードの情報を表示する 46
本機の設定内容を初期化する 47

設置と接続

設置と接続について **49**
設置とアンテナ取り付けの準備 50
次のような場所では映りにくいことがあり
ます 50
アンテナの取り付け **51**
1. 貼り付け位置を決める 51
2. フロントガラスの内側の汚れを
取り除く 52
3. フィルムアンテナの構成 52
4. 貼り付け許容範囲について 53
5. フィルムアンテナをフロントウィンドウ
に貼り付ける 53
6. アンプをアンテナ給電部に
貼り付ける 54
7. アンテナケーブルの配線 55
接続する **56**
本体後面 56
本体前面 57
本体の取り付け方法 57

資料

こんなメッセージが表示されたときは **58**
故障かなと思ったら **59**
仕様 **60**
保証とアフターサービスについて **61**
保証書 ..... **裏表紙**

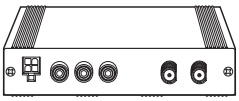
本製品について

本機は車載用の地上デジタルチューナーです。
カーナビや、車載用テレビなど、外部入力端子（映像入力・音声入力）の付いた機器に接続することにより、地上デジタル放送と地上ワンセグ放送をご覧になることができます。
本機は、データ放送には対応していません。

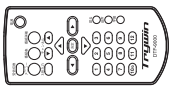
商品構成

本機には次のものが同梱されています。設置、接続の前に必ずご確認ください。
万一、不足していたり破損している場合は、すぐに販売店までご連絡ください。

チューナ本体（1 個）



ワイヤレスリモコン（1 個）
（電池付：CR-2025）



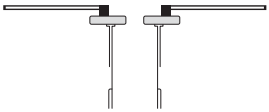
リモコン受光部（1 個）

長さ：約 3 m

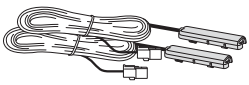
電源用コード（1 本）

長さ：約 3 m

フィルムアンテナ（2 枚）

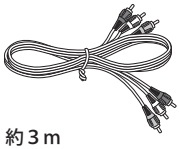


アンテナコード（2 本）
（アンプ内蔵）



長さ：約 4 m

AV ケーブル（1 本）

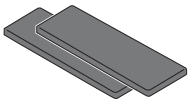


長さ：約 3 m

B-CAS カード（1 枚）

取扱説明書（1 冊）
（本書・保証書付き）

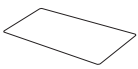
本体取付用テープ（2 枚 1 組）
× 2 セット



リモコン受光部
固定用テープ（1 組）

コードクランプ
（6 個）

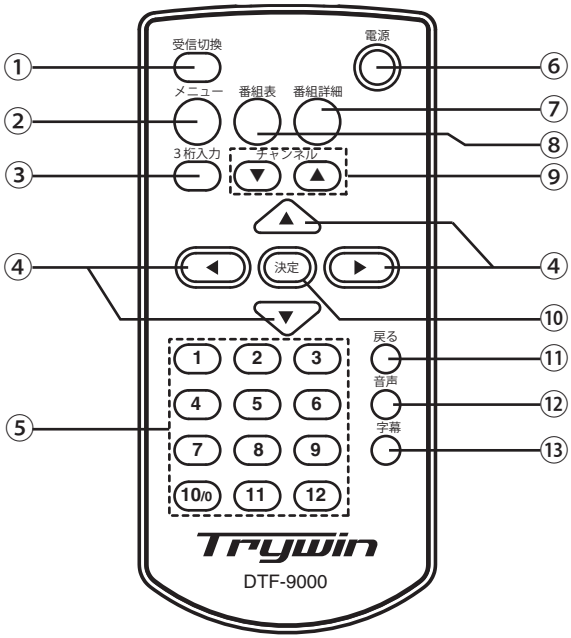
クリーナー
（1 個）



付属品の仕様および概観は、改良のため予告無く変更することがあります。
この説明書のイラストや、画面は説明用のイメージであり、実際と異なる場合があります。

各部の名前

リモコン



① 受信切換ボタン
受信モードを切り換えます。

自動 → 地デジ固定 → ワンセグ固定 →（自動へ戻る）

② メニューボタン
メニュー画面を表示します。

③ 3 桁入力ボタン
3 桁のチャンネル番号を入力して選局するときに使用します。

④ カーソルボタン
メニュー項目の移動等に使用します。

⑤ 数字ボタン
チャンネルの選局、および数字の入力に使用します。

⑥ 電源ボタン
本体の電源をオンまたはオフにします。

⑦ 番組詳細ボタン
視聴している番組の情報を表示します。

⑧ 番組表ボタン
視聴中の放送の番組表を表示します。

⑨ チャンネル上／チャンネル下ボタン
チャンネルを順番に選局することができます。

⑩ 決定ボタン
各種設定の確定等に使用します。

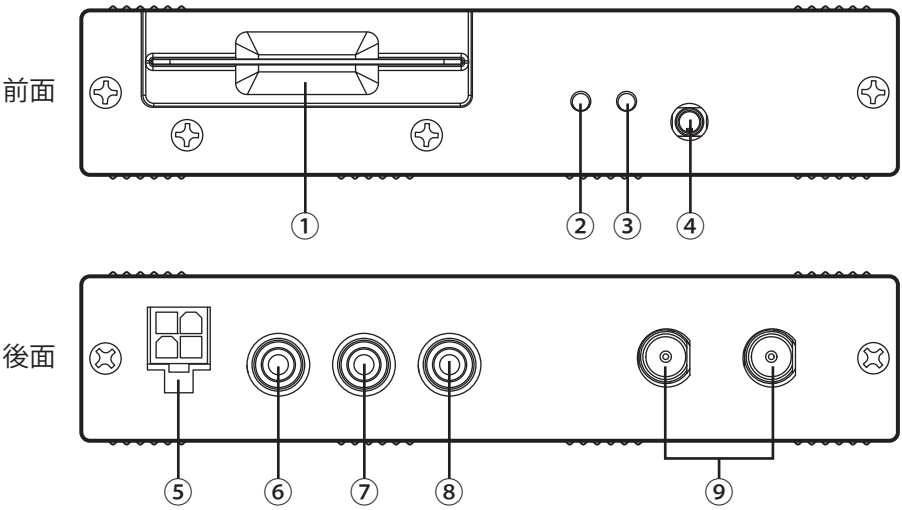
⑪ 戻るボタン
1 つ前の画面に戻ります。

⑫ 音声ボタン
視聴中の番組に複数の音声がある場合、音声を切り換えることができます。

⑬ 字幕ボタン
字幕の言語や表示の設定を切り換えることができます。

本体

電源の接続や、アンテナの取り付けには専門的な知識が必要です。お買い上げの販売店などにご依頼ください。



① **B-CAS（ビーキャス）カード挿入口**
B-CAS カード（付属）を挿入します。

② **STBY（スタンバイ）ランプ**
電源「オフ」時に赤色に点灯します。

③ **ON（オン）ランプ**
電源「オン」時に緑色に点灯します。

④ **リモコン受光部接続端子**
付属のリモコン受光部を接続します。

⑤ **電源接続端子**
付属の電源コードを接続します。

⑥ **映像出力端子**
付属の映像・音声コードの黄色いプラグを接続します。

⑦ **左音声出力端子**
付属の映像・音声コードの白いプラグを接続します。

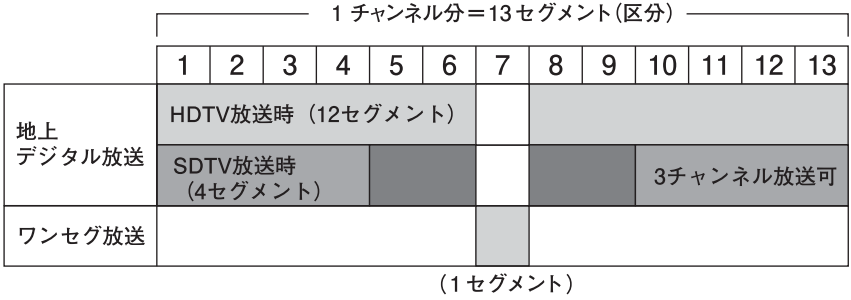
⑧ **右音声出力端子**
付属の映像・音声コードの赤いプラグを接続します。

⑨ **アンテナ接続端子**
付属のフィルムアンテナとアンテナコードを接続した後に、アンテナコードを接続します。

地上デジタル放送について

地上デジタル放送は、今までのアナログ UHF 放送帯域を使用して、デジタルの特長であるゴーストのない鮮明な画像と、高音質、データ放送などの多チャンネル放送などを実現しています。

地上デジタル放送のイメージ



ワンセグについて

「ワンセグ」は地上デジタル放送の 1 セグメント分を利用して、主に携帯・移動体向けにサービスを開始している放送です。「ワンセグ」は通常地上デジタルテレビと同じ放送をしています。
また、「ワンセグ」は地上デジタル放送に比べ、画質は劣るものの受信エリアが広く安定した画像と音声が楽しめます。

- 地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の地域でも 2006 年末までに放送が開始されています。「ワンセグ」は、2006 年 4 月に開始され、地上デジタルテレビの放送地域拡大により、順次受信可能なエリアが拡大されています。ただし、放送局によっては、「ワンセグ」が放送されない場合もあります。
- 地上デジタル放送の詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。

社団法人　地上デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

緊急警報放送について

- **緊急警報放送とは**

  大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。
  本機能は、地上デジタル放送視聴時のみの機能です。
- **緊急警報放送受信時の動作**

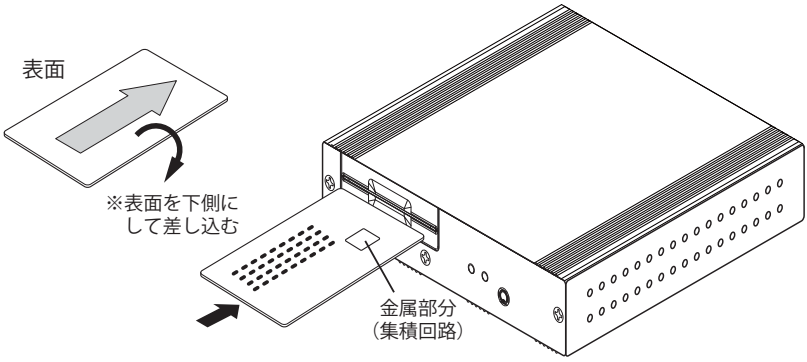
  本機は、視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送のチャンネルに切り換わります。
  緊急警報放送終了後は、切り換わったチャンネルのままです。元のチャンネルには自動では戻りません。

B-CAS カードの挿入

挿入のしかた

① 車のエンジンをきる（ACC オフにする）

② B-CAS（ビーキャス）カードを下図のように裏面にし、奥まで確実に差し込む



ご注意

- B-CAS カードが挿入されていない、または正しく挿入されていないと地上デジタル放送は受信できません。このような場合はワンセグのみの受信となります。B-CAS カードは正しく挿入してください。

B-CAS カードについて

- 付属の B-CAS カードは地上デジタル放送の受信に必要です。常に本機に挿入してお使いください。
- 破損等により B-CAS カードの再発行が必要になった場合は（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ にまでご連絡ください。（カスタマーセンター連絡先は B-CAS カードにも記載されております。）
- B-CAS カードについてのお問い合わせは、以下の窓口にお願いします。

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
カスタマーセンター　TEL：0570-000-250

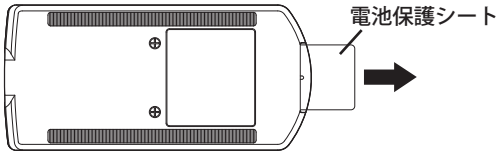
B-CAS カード取扱上のご注意

- ご使用中または保管中の B-CAS カードは、紛失や盗難等に充分注意してください。もしも、他の人がお客様の B-CAS カードを使用して有料番組を視聴すると、視聴料がお客様に請求されることがあります。
- B-CAS カードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたり、熱を加えたり、水に浸けたりしないでください。
- B-CAS カードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CAS カードの金属部分（集積回路）には手を触れ、水等で濡らさないでください。
- B-CAS カードは、分解、加工しないでください。
- B-CAS カード挿入口には、本機に付属している B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- 本機ご使用中は、B-CAS カードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。万一、B-CAS カードを抜く差し必要がある場合は、車のエンジンを切り、ACC もオフにした状態で、ゆっくりと抜いてください。
- B-CAS カードには IC（集積回路）が組み込まれているため、画面に B-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は、B-CAS カードの抜き差しをしないでください。

リモコンの準備

リモコンをご使用になる前に

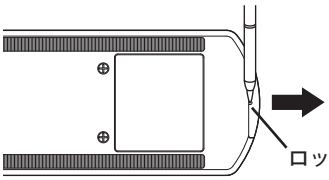
① リモコンから電池保護シートを抜く



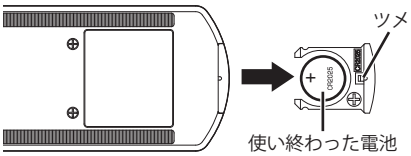
メモ
- お買い上げ時リモコン内に入っている電池は、初期の動作確認用です。したがって電池はお早めにお取り換えください。
- ボタンを押しても動作しなくなったときは電池の消耗が考えられますので、リモコンの電池を交換してください。

リモコン用電池の取り換えかた

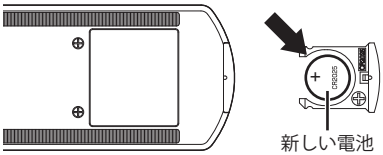
① リモコン下部にある電池ホルダーのロック部のツメを押すようにペン先を差し込む



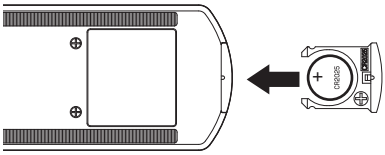
② ペン先を使って電池ホルダーを引っ張り出し、使い終わった電池を取り出す



③ 市販の新しい電池（CR2025）の＋極を上にして電池ホルダーに入れる



④ 電池ホルダーをリモコンに戻す



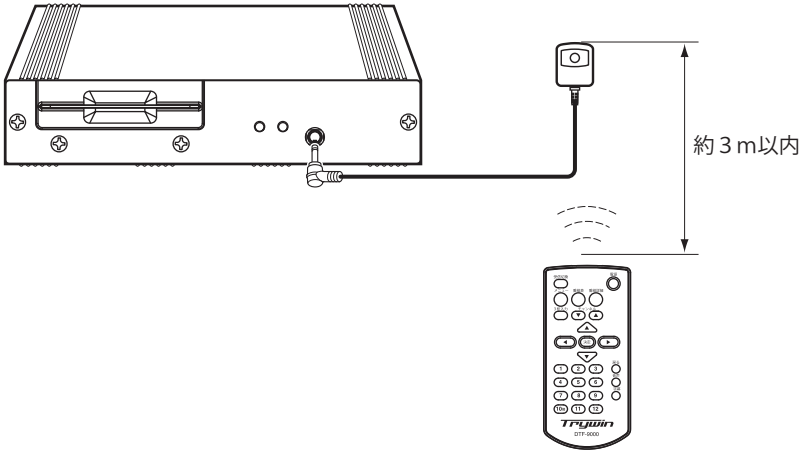
ご注意
- 使い終わった電池は、お住まいになる各自治体の指示に従って廃棄またはリサイクルをしてください。

リモコン操作をするには

① リモコン受光部のプラグを本体のリモコン接続端子に差し込む

② リモコン受光部を操作しやすい場所に付属の「リモコン受光部用固定テープ」で取り付ける

③ 操作をするときはリモコンを受光部から 3m 以内で正面に向けて操作する



電源をオン／オフするには

⚠ 注 意

配線取り付け／取り外しは専門技術者に依頼してください。
取り付けと配線は専門的な技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

電源をオンにする

① 車のエンジンをかける（ACC オンにする）

- 本機の STBY ランプが赤色に点灯します。

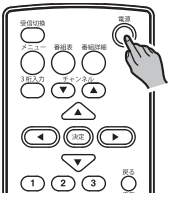
② モニターの入力を本機に切り換える

- モニターの電源を入れます。
- モニターに複数の機器が接続されている場合は、モニター入力を本機に切り換えます。

メモ ● モニターの取り扱いはモニターの取扱説明書を参照してください。

③ リモコンの電源ボタンを押して電源をオンにする

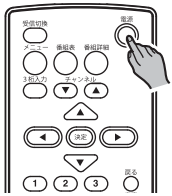
- 本機の ON ランプが緑色に点灯し、電源がオンになります。前回電源をオフする前に放送を受信していれば、そのチャンネルが表示されます。



電源をオフにする

① もう一度リモコンの電源ボタンを押す

- 本機の STBY ランプが赤色に点灯し、電源がオフになります。



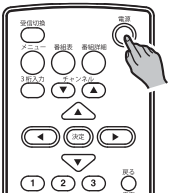
初めてお使いになるとき

放送局を登録する

ご購入後最初に放送を受信するときは、お住まいの地域を指定して放送局を登録する必要があります。

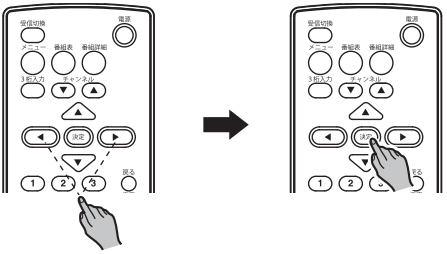
① 電源ボタンを押して電源をオンにする

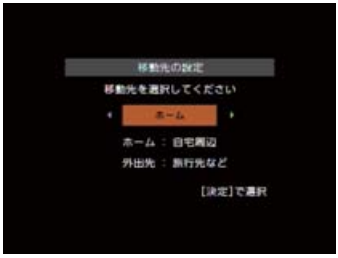
- 「移動先の設定画面」が表示されます。



② カーソル左／右(◀/▶)ボタンを押して「ホーム」または「外出先」を選択し、決定ボタンを押す

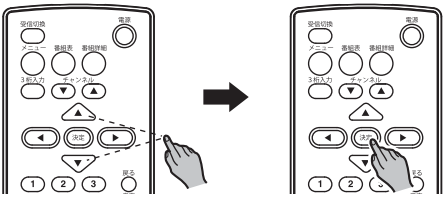
ホーム：お住まいの地域を指定する。
外出先：お出かけ先の地域の設定をおこないます。



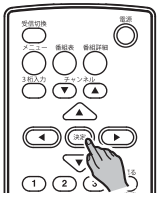


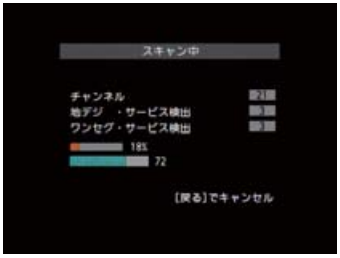
- 都道府県地域の一覧が表示されます。

③ カーソル上／下(▲/▼)ボタンを押してお住まいの「都道府県」を選択し、決定ボタンを押す

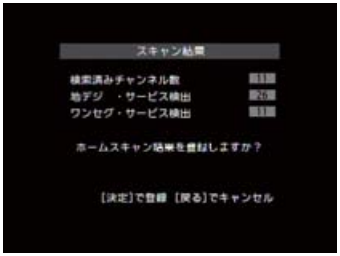


- 受信できる放送局のチャンネルスキャンが始まります。
- 戻るボタンを押した場合は前画面に戻ります。





- チャンネルスキャン終了後、スキャン結果が表示されます。
- 戻るボタンを押した場合は、地域設定画面に戻ります。



④ 決定ボタンを押し、スキャンした放送局を登録する

- 放送局登録後、「リモコン番号 割当て一覧画面」が表示されます。
- リモコン番号の割当ての設定をしたい場合は「リモコンの設定を変更する」（P39）を参照してください。

ご注意

- **この画面から放送局を指定しても視聴する事は出来ません。**

⑤ 決定ボタンを押し、スキャンを終了する

テレビ放送を見るには

テレビ視聴について

本機は、安全上の配慮から車を停止しパーキングブレーキが働いてる状態でのみテレビの視聴が行えます。
走行中（パーキングブレーキが働いていない状態）は音声のみとなります。

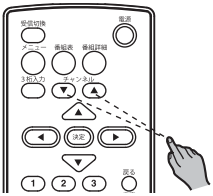
チャンネル上／下（▲/▼）ボタンを押してチャンネルを順に選ぶとき

① 電源ボタンを押して電源をオンにする

- 電源をオンにすると前回電源をオフしたときに受信していたチャンネルを受信します。

② チャンネル上／下（▲/▼）ボタンを押してチャンネルを選ぶ

- ボタンを押すごとに登録された放送局を順に受信します。



*1 受信モード

自動切換モード
受信状態に応じて「地デジ」と「ワンセグ」を自動で切り替えます。

固定受信モード
「地デジ」または「ワンセグ」のみ受信します。

*2 リモコンキーに割り当てのないチャンネルを選局した場合はリモコン番号は表示されません。

*3 ACC オンの後、初めて視聴するチャンネルでは表示されません。
しばらく視聴を続けると放送局よりダウンロードされ表示されるようになります。

数字ボタンを押して直接チャンネルを選ぶとき

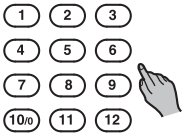
① 電源ボタンを押して電源をオンにする

- 電源をオンにすると前回電源をオフしたときに受信していたチャンネルを受信します。

② 数字ボタンを押してチャンネルを選ぶ

- リモコンボタンに登録された放送局を受信します。

例：チャンネル 2 の場合：2 と入力。



3 桁のチャンネル番号を入力してチャンネルを選ぶとき

① 電源ボタンを押して電源をオンにする

- 電源をオンにすると前回電源をオフしたときに受信していたチャンネルを受信します。

② 3 桁入力ボタンを押す

- 画面右上に 3 桁番号（チャンネル番号）の番号入力エリアが表示されます。

*1 リモコンキーに割り当てのないチャンネルを選局した場合はリモコン番号は表示されません。

*2 ACC オンの後、初めて視聴するチャンネルでは表示されません。
しばらく視聴を続けると放送局よりダウンロードされ表示されるようになります。

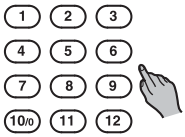
メモ
- 自動受信モードで地デジを受信中にワンセグのチャンネル番号を入力すると地デジが選局されます。

③ 3 桁のチャンネル番号を入力する

- チャンネル番号は、数字ボタンで入力します。

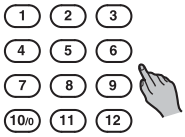
メモ ●「0」は “10/0” で入力します。

例：「071」チャンネルの場合：“10/0”、“7”、“1” と入力。最後の数字を押した瞬間に選局されます。



- お住まいの地域または走行地域によっては、同じ 3 桁のチャンネル番号に複数の放送が割り当てられることがあります。このようなときは 3 桁のチャンネル番号の後に枝番号が追加されます。
- 枝番号が追加されたチャンネルを選局する場合は、3 桁のチャンネル番号入力後に枝番号を入力する必要があります。

例：3 桁のチャンネル番号「031」、枝番号「01」の場合：“10/0”、“3”、“1”、“10/0”、“1” と入力。



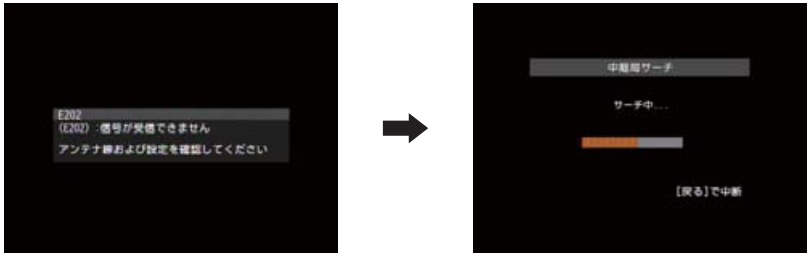
メモ ●キャンセルしたい場合は、「戻る」ボタンを押してください。

受信できなくなったときに自動で中継局を探す

視聴中のチャンネルが受信できなくなったとき、受信感度の強い中継局を自動で探して受信する「中継局サーチ」を行うことができます。

自動で中継局サーチ

本機能は、設定メニューで中継局サーチ（P34）を「自動」に設定しているときに行われます。



しばらくすると自動で中継局をサーチ

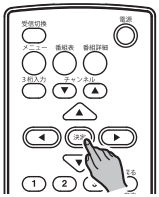
メモ ● 中継局サーチは、受信できる中継局が見つかるまで繰り返し実行されます。

手動で中継局サーチ

設定メニューで中継局サーチを「手動」に設定しているときは、中継局サーチを行う前に、中継局サーチの確認画面（右図）が表示されます。

① 中継局サーチ確認画面が表示中に、決定ボタンを押す

- 中継局サーチは、受信できる中継局が見つかるまで繰り返し実行されます。
- 戻るボタンを押すと、中継局サーチは実行されません。



メモ ● 設定メニューで中継局サーチを「オフ」に設定しているときは、中継局サーチは行われません。

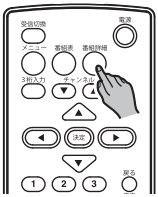
いろいろな操作

番組の情報を表示する

視聴中の番組の情報を表示することができます。

① 番組詳細ボタンを押す

- 視聴中番組の情報が画面下に表示されます。



A. チャンネル情報、現在時刻 *1
B. 番組放送時刻
C. 番組名
D. 音声設定情報
E. 字幕設定情報
F. 受信モード *2
G. 信号レベル

*1 ACC オンの後、初めて視聴するチャンネルでは表示されません。
しばらく視聴を続けると放送局よりダウンロードされ表示されるようになります。

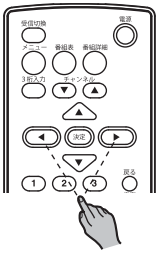
*2 受信モード

自動切換モード
受信状態に応じて「地デジ」と「ワンセグ」を自動で切り替えます。

固定受信モード
「地デジ」または「ワンセグ」のみ受信します。

② カーソル左／右(◀/▶)ボタンを押す

- カーソル左／右(◀/▶)ボタンで情報が切り換わります。



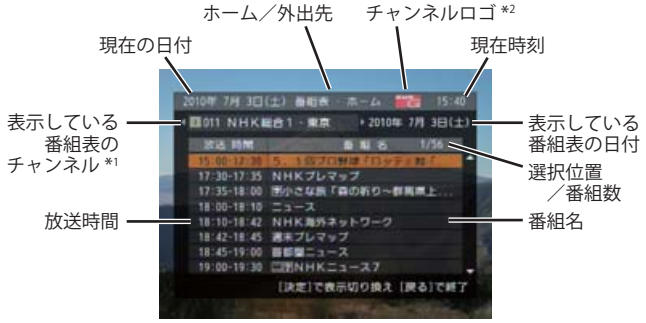
メモ ● 一定時間、操作を行わないと表示が消えます。

番組表を表示する

放送局から送られてくる番組表を見ることができます。

① 番組表ボタンを押す

- 視聴中の放送の番組表が表示されます。
- カーソル上／下(▲/▼)ボタンで番組一覧が上下にスクロールします。
- カーソル左／右(◀/▶)ボタンでチャンネルが切り換わります。

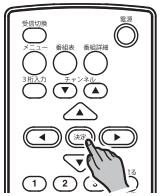


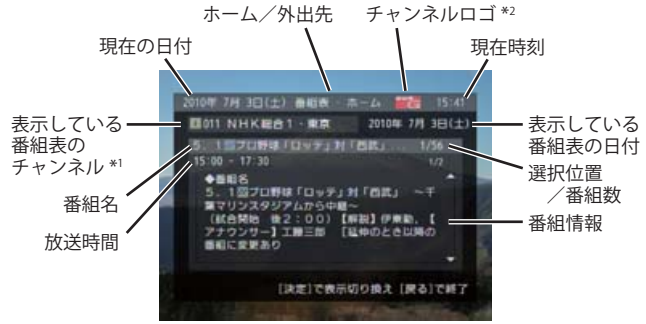
*1 リモコンキーに割り当てのないチャンネルを視聴している場合はリモコン番号は表示されません。
*2 ACC オンの後、初めて視聴するチャンネルでは表示されない場合があります。
しばらく視聴を続けると放送局よりダウンロードされ表示されるようになります。

メモ
- 視聴していないチャンネルの番組表は表示されません。
また、番組表を取得したい場合は、チャンネルを切り換えて視聴する必要があります。

② 決定ボタンを押す

- 決定ボタンで選択している番組の番組情報が表示されます。
- 次ページがある場合、カーソル上／下(▲/▼)ボタンで表示内容が切り換わります。
- 決定ボタンで番組表に戻ります。





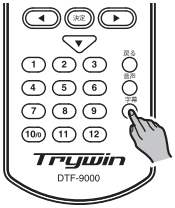
*1 リモコンキーに割り当てのないチャンネルを視聴している場合はリモコン番号は表示されません。
*2 ACC オンの後、初めて視聴するチャンネルでは表示されない場合があります。
しばらく視聴を続けると放送局よりダウンロードされ表示されるようになります。

メモ
- ここで表示される番組表および番組情報は実際の放送とは違うことがあります。

字幕の表示／非表示を切り換える

字幕放送をしている場合、字幕の表示／非表示を切り換えることができます。

① 字幕ボタンを押す



- 押すごとに字幕の言語、表示／非表示を切り換えます。

  →オフ→日本語→英語→

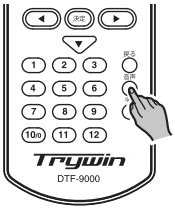
- 画面左上に字幕の言語、表示／非表示が表示されます。

メモ ● 英語の字幕に関しては、現在放送されておりません。

音声を切り換える

視聴中の番組に複数の音声がある場合、音声を切り換えることができます。

① 音声ボタンを押す



- 押すごとに音声が切り換わります。
- 画面左上に音声種別が表示されます。

  視聴している番組が音声多重放送の場合

  →主音声→副音声→主＋副→

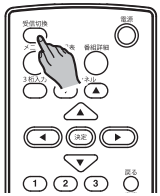
  音声多重放送以外の場合は「ステレオ、モノラル」と表示されます。

メモ
- 視聴している番組に複数音声がない場合は、現在の音声種別が表示されます。
- 音声ストリームが複数存在する場合は、「音声 1、音声 2」と表示される場合があります。

受信モードを切り換える

受信する放送を地上デジタル放送またはワンセグ放送に切り換えることができます。

① 受信切換ボタンを押す



受信モード *1

*1 受信モード

自動切換モード
受信状態に応じて「地デジ」と「ワンセグ」を自動で切り替えます。

固定受信モード
「地デジ」または「ワンセグ」のみ受信します。

- 押すごとに受信モードが切り換わります。

自動切り換え：電波の受信状態に応じて、地上デジタル放送とワンセグ放送を切り替えます。
↓
地デジ固定　：地上デジタル放送に固定して受信します。
↓
ワンセグ固定：ワンセグ放送に固定して受信します。

本機の設定を行う

メニュー画面を表示する

メニューボタンを押すとメニュー画面が表示されます。
画面を見ながら本機の設定などの情報を操作することができます。

① メニューボタンを押す

- メニュー画面が表示されます。

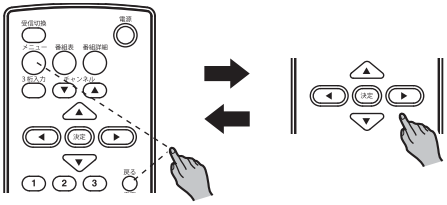
② カーソル左／右(◀/▶)ボタンを押して設定種別(チャンネル設定・視聴設定・システム設定)を選択する

設定種別に応じた設定項目が表示されます。

③ カーソル上／下(▲/▼)ボタンを押して設定項目を選択し、決定ボタンまたはカーソル右(▶)ボタンを押す

- メニュー画面右側に設定内容が表示されたり、選択した項目を設定するための画面が表示されます。

④ 戻るボタンで設定種別の変更やメニュー画面の表示を消す



メモ ● メニュー画面は、一定時間操作を行わなかった場合、表示が消えます。

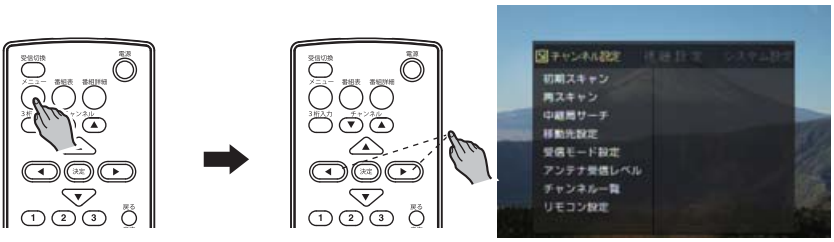
メニュー項目一覧			
設定種別	チャンネル設定	視聴設定	システム設定
設定項目	初期スキャン 再スキャン 中継局サーチ 移動先設定 受信モード設定 アンテナ受信レベル チャンネル一覧 リモコン設定	映像表示設定 字幕表示 文字スーパー表示	バージョン表示 B-CAS カード 工場出荷設定

初期スキャンを行う

現在受信可能なチャンネルを調べます。
都道府県を設定することにより、適切なリモコン番号にチャンネルが割り振られます。
チャンネル登録は、現在設定されている移動先に対して行われるため、チャンネル登録を行いたい移動先を選択後に初期スキャンを行ってください。

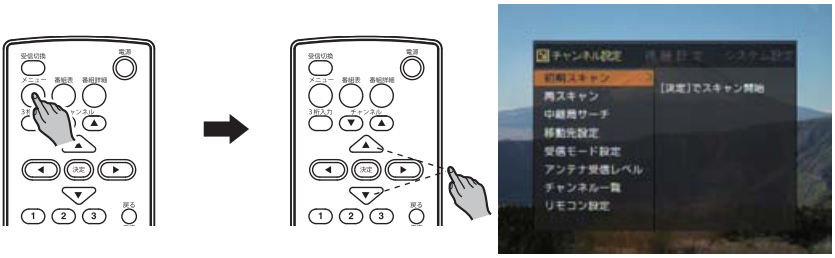
① メニューボタンを押し、カーソル左／右（◀/▶）ボタンでチャンネル設定を選択する

- チャンネル設定項目がメニュー画面左側に表示されます。



② カーソル上／下（▲/▼）ボタンで初期スキャンを選択し、決定ボタンを押す

- メニュー画面右側に「[決定] でスキャン開始」と表示されます。

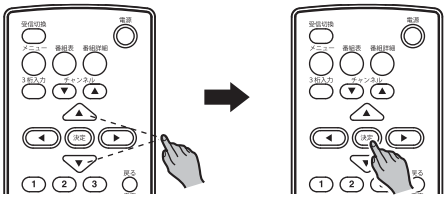


③ 決定ボタンを押す

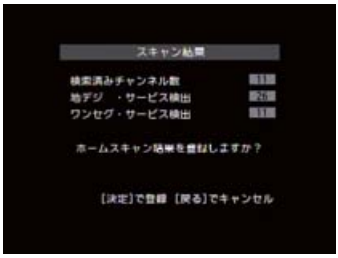
- 都道府県の一覧が表示されます。

④ カーソル上／下(▲/▼)ボタンを押して「都道府県」を選択し、決定ボタンを押す

- 受信できる放送局のチャンネルスキャンが始まります。

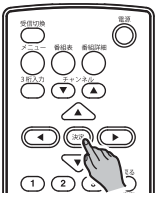


- スキャン終了後、スキャン結果が表示されます。



⑤ 決定ボタンを押し、スキャンした放送局を登録する

- 放送局登録後、「リモコン番号 割当て一覧」が表示されます。



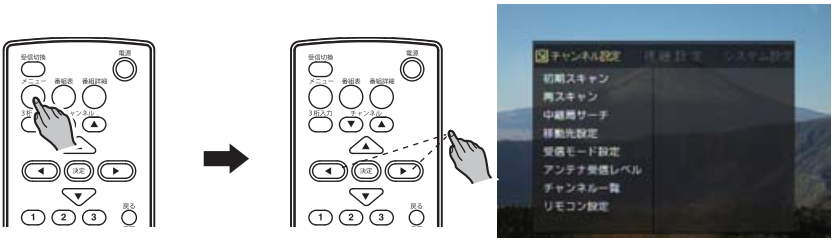
メモ
- 初期スキャンを行うと、既に登録してあったチャンネルは全て消去されます。

再スキャンを行う

新たに受信できた放送局を追加します。

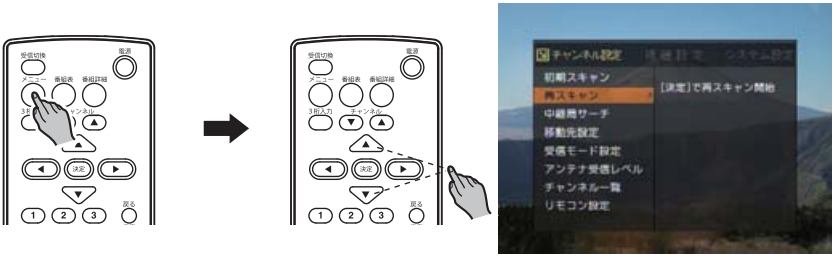
① メニューボタンを押し、カーソル左／右（◀/▶）ボタンでチャンネル設定を選択する

- チャンネル設定項目がメニュー画面左側に表示されます。



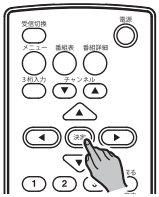
② カーソル上／下（▲/▼）ボタンで再スキャンを選択し、決定ボタンを押す

- メニュー画面右側に「[決定] で再スキャン開始」と表示されます。

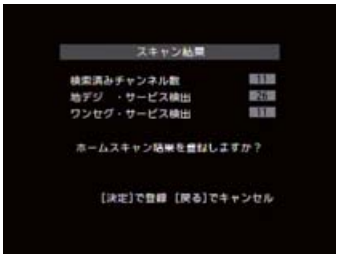


③ 決定ボタンを押す

- 受信できる放送局のチャンネルスキャンが始まります。

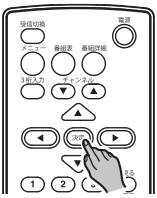


● スキャン終了後、スキャン結果が表示されます。



④ 決定ボタンを押し、スキャンした放送局を登録する

● 放送局登録後、「リモコン番号 割当て一覧」が表示されます。



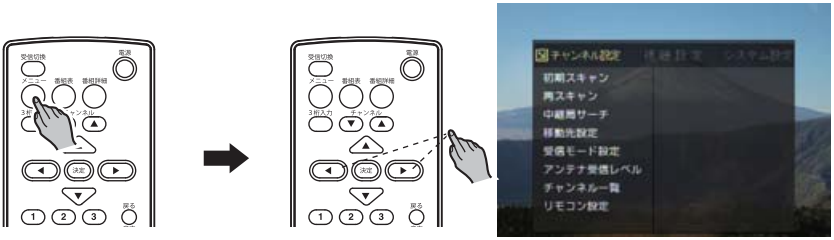
メモ ● 再スキャンを行うと、既に登録してあったチャンネルは消去されず、新たにスキャンされたチャンネルが追加されます。

中継局サーチの設定をする

受信状況に応じて最適な中継局を自動的にサーチする、しないを設定することができます。中継局サーチの操作方法は「受信できなくなったときに自動で中継局を探す」（P24）をご覧ください。

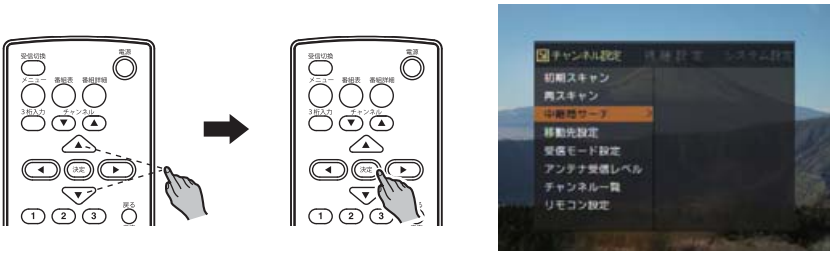
① メニューボタンを押し、カーソル左／右（◀/▶）ボタンでチャンネル設定を選択する

- チャンネル設定項目がメニュー画面左側に表示されます。



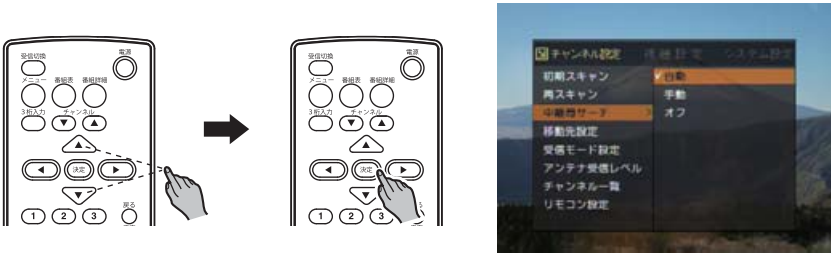
② カーソル上／下（▲/▼）ボタンで中継局サーチを選択し、決定ボタンを押す

- メニュー画面右側に設定項目および現在の設定状態が表示されます。



③ カーソル上／下（▲/▼）ボタンを押して設定項目を選択し、決定ボタンを押す

自動：自動で中継局サーチを実行します。
手動：手動で中継局サーチを実行します。
オフ：中継局サーチを実行しません。

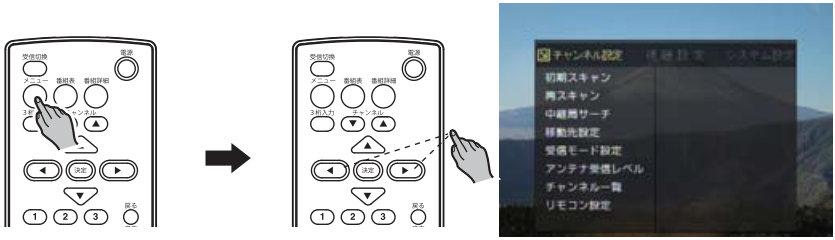


移動先を設定する

本機は、チャンネル設定をホーム（ご自宅周辺）、外出先（ご旅行先など）の 2 つに設定することができます。

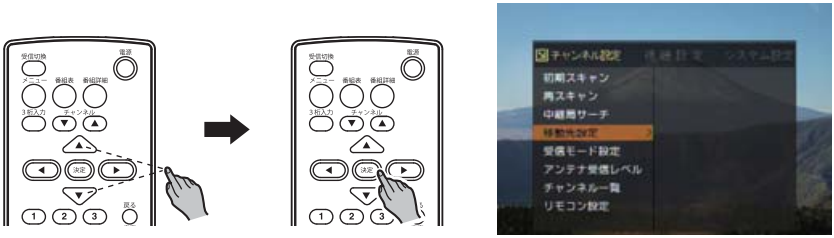
① メニューボタンを押し、カーソル左／右（◀/▶）ボタンでチャンネル設定を選択する

- チャンネル設定項目がメニュー画面左側に表示されます。



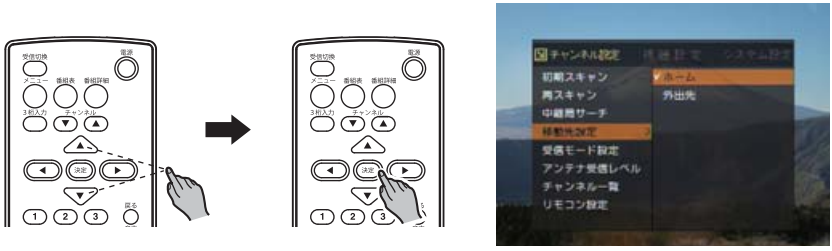
② カーソル上／下（▲/▼）ボタンで移動先設定を選択し、決定ボタンを押す

- メニュー画面右側に設定項目および現在の設定状態が表示されます。



③ カーソル上／下（▲/▼）ボタンを押して設定項目を選択し、決定ボタンを押す

ホーム：ご自宅周辺、外出先：ご旅行先など



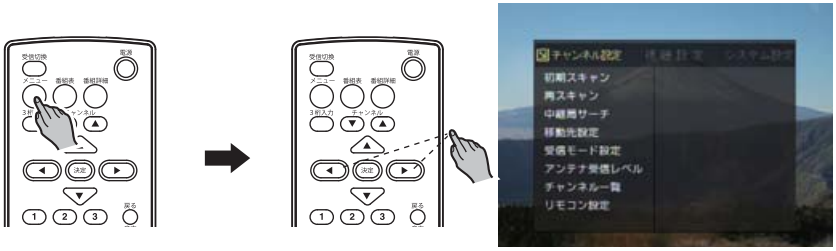
- 設定した移動先で最後に視聴していたチャンネルに選局されます。
  選択した移動先で一度もチャンネルスキャンを行っていない場合、都道府県の一覧が表示されますので、都道府県を選択し、チャンネルスキャンを行ってください。

受信モードを設定する

本機は、受信状況に応じて地上デジタル放送とワンセグ放送を自動的に切り換えるか、地上デジタル放送またはワンセグ放送を固定するかを設定することができます。

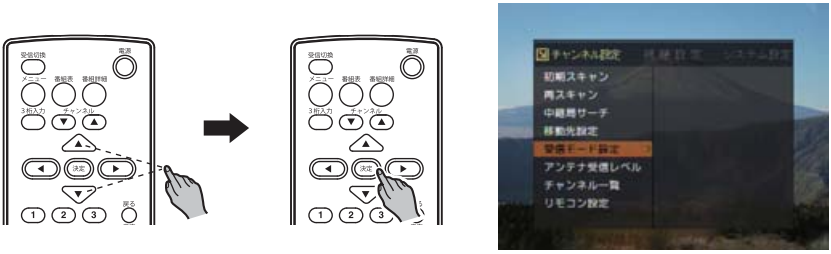
① メニューボタンを押し、カーソル左／右（◀/▶）ボタンでチャンネル設定を選択する

- チャンネル設定項目がメニュー画面左側に表示されます。



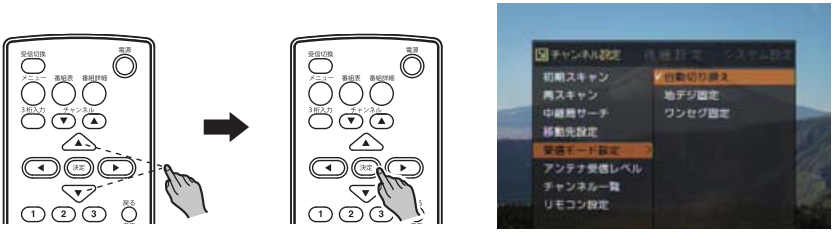
② カーソル上／下（▲/▼）ボタンで受信モード設定を選択し、決定ボタンを押す

- メニュー画面右側に設定項目および現在の設定状態が表示されます。



③ カーソル上／下（▲/▼）ボタンを押して設定項目を選択し、決定ボタンを押す

自動切り換え：電波の受信状態に応じて、地上デジタル放送とワンセグ放送を切り換えます。
地デジ固定：　地上デジタル放送のみを受信します。
ワンセグ固定：ワンセグ放送のみを受信します。

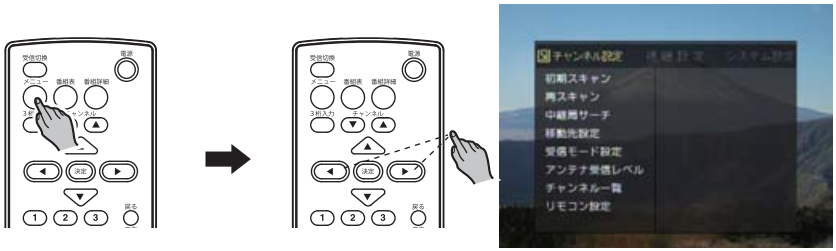


アンテナ受信レベルを表示する

チャンネルの受信レベルを表示します。

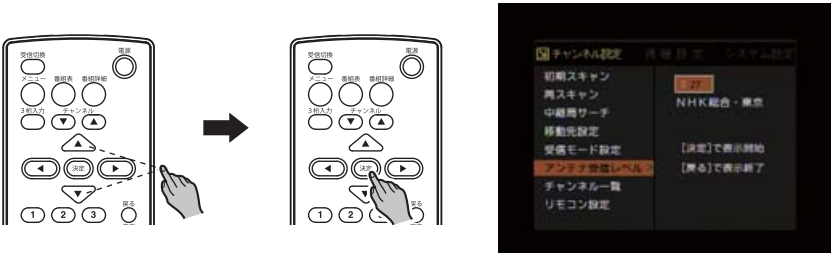
① メニューボタンを押し、カーソル左／右(◀/▶)ボタンでチャンネル設定を選択する

- チャンネル設定項目がメニュー画面左側に表示されます。



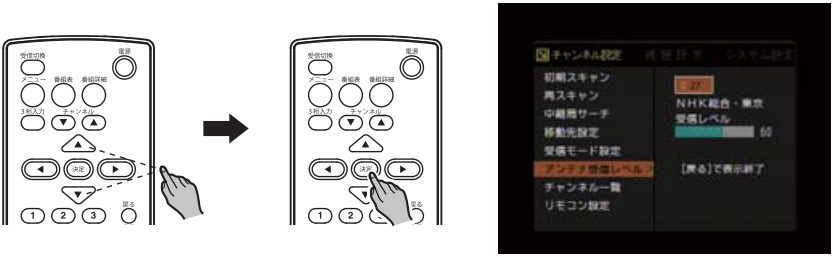
② カーソル上／下(▲/▼)ボタンでアンテナ受信レベルを選択し、決定ボタンを押す

- メニュー画面右側に物理チャンネル※選択画面が表示されます。



③ カーソル上／下(▲/▼)ボタンを押して物理チャンネル※を選択し、決定ボタンを押す

- 選択した物理チャンネル※の受信レベルが表示されます。



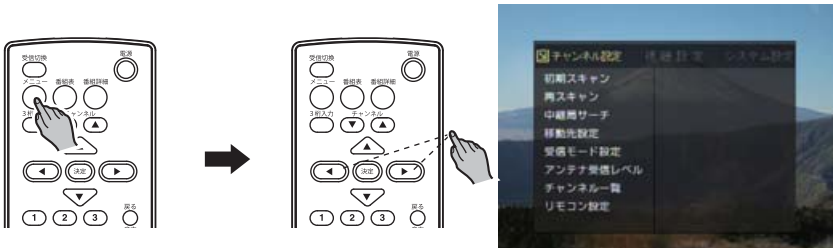
メモ ● 物理チャンネルとは、実際に送信されている UHF のチャンネル番号（チャンネル 13 ～ 62）のことです。

チャンネル一覧を表示する

ホームや外出先に登録されているチャンネルを一覧表示します。

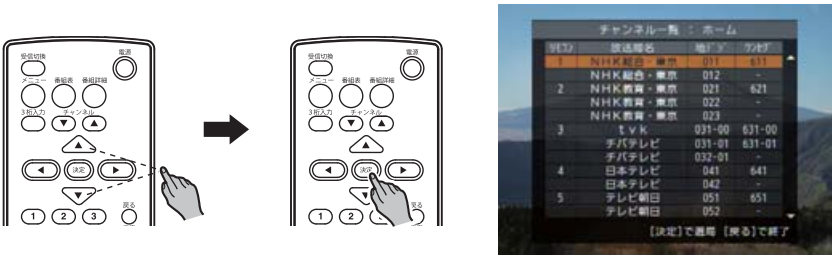
① メニューボタンを押し、カーソル左／右（◀/▶）ボタンでチャンネル設定を選択する

- チャンネル設定項目がメニュー画面左側に表示されます。



② カーソル上／下（▲/▼）ボタンでチャンネル一覧を選択し、決定ボタンを押す

- チャンネル一覧画面が表示されます。



- カーソル上／下（▲/▼）ボタンを押してチャンネルを選択し、決定ボタンを押すと選択したチャンネルに選局します。（チャンネル一覧は表示されたままとなります。）

③ メニュー画面に戻るには、戻るボタンを押す

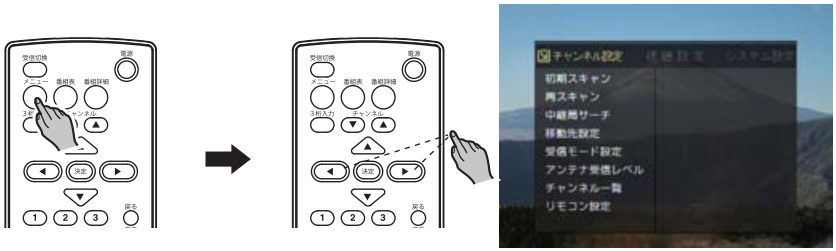
メモ
- チャンネル一覧画面は、一定時間操作を行わなかった場合、表示が消えます。

リモコンの設定を変更する

リモコン番号へのチャンネルの割り当てを変更することができます。

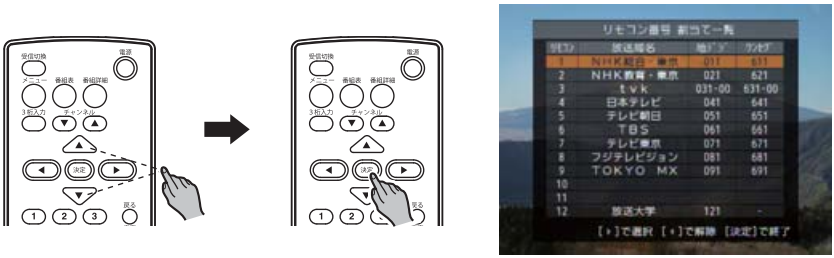
① メニューボタンを押し、カーソル左／右(◀/▶)ボタンでチャンネル設定を選択する

- チャンネル設定項目がメニュー画面左側に表示されます。



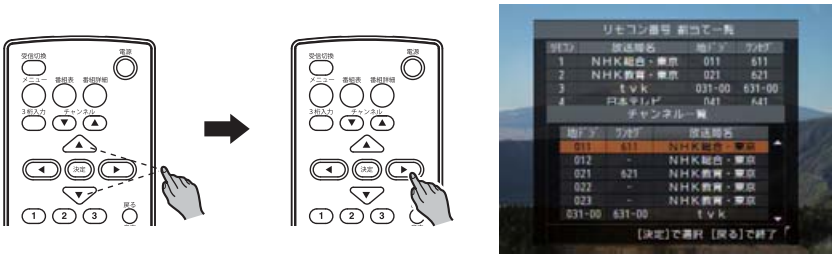
② カーソル上／下(▲/▼)ボタンでリモコン設定を選択し、決定ボタンを押す

- リモコン番号割当て一覧画面が表示されます。



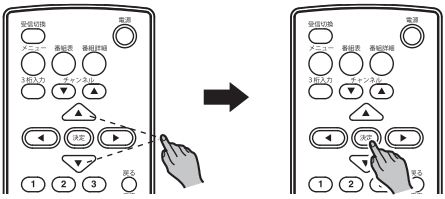
③ カーソル上／下(▲/▼)ボタンを押してリモコン番号を選択する

- カーソル右(▶)ボタンを押すとチャンネル一覧が表示されます。
- カーソル左(◀)ボタンを押すと登録を削除することが出来ます。



④ カーソル上／下（▲/▼）ボタンを押してチャンネルを選択し、決定ボタンを押す

- 選択したリモコン番号にチャンネルが登録されます。



- 既にリモコン番号に登録されているチャンネルを選択した場合、以前のリモコン番号への登録が削除され、新たに選択されたリモコン番号に登録されます。

⑤ メニュー画面に戻るには、決定ボタンを押す

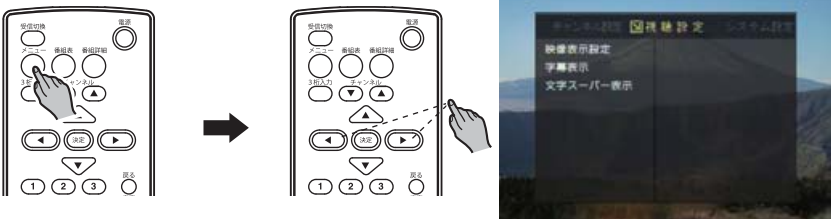
メモ
- リモコン番号割当て一覧画面は、一定時間操作を行わなかった場合、表示が消えます。

映像の表示形式を設定する

接続するテレビや、モニタの画面形状に合わせて映像の表示形式の変更をします。

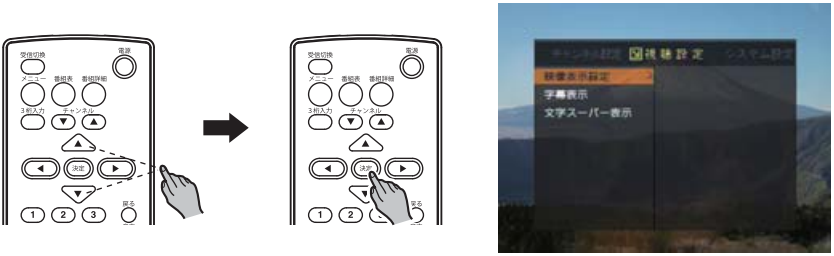
① メニューボタンを押し、カーソル左／右（◀/▶）ボタンで視聴設定を選択する

- 視聴設定項目がメニュー画面左側に表示されます。



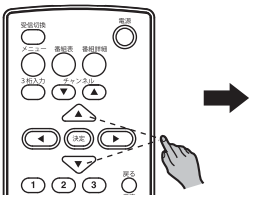
② カーソル上／下（▲/▼）ボタンで映像表示設定を選択し、決定ボタンを押す

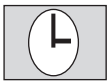
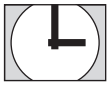
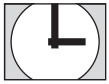
- メニュー画面右側に設定項目および現在の設定状態が表示されます。



③ カーソル上／下（▲/▼）ボタンを押して設定項目を選択し、決定ボタンを押す

通　常：映像をそのまま表示します。
シネマ：映像をレターボックス形式にて表示します。
ズーム：映像をズームして表示します。



本機の設定	映像	お使いのテレビモニタの画面サイズ	
		4:3	16:9
通　常	4:3		
	16:9		
シネマ	4:3		
	16:9		
ズーム	4:3		
	16:9		

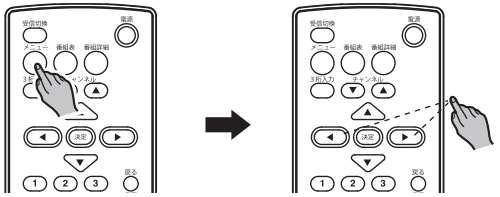
※接続するテレビモニタの設定によっては画面表示が異なります。

字幕の表示／非表示、言語設定をする

字幕放送を受信したときの字幕の表示／非表示の設定を行うことができます。

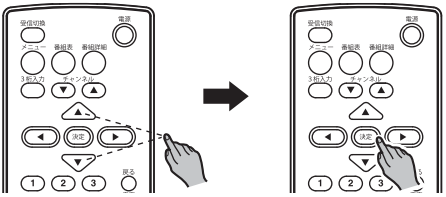
① メニューボタンを押し、カーソル左／右(◀/▶)ボタンで視聴設定を選択する

- 視聴設定項目がメニュー画面左側に表示されます。



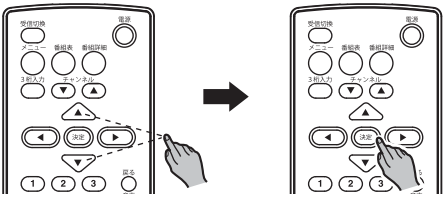
② カーソル上／下(▲/▼)ボタンで字幕表示を選択し、決定ボタンを押す

- メニュー画面右側に設定項目および現在の設定状態が表示されます。



③ カーソル上／下(▲/▼)ボタンを押して設定項目を選択し、決定ボタンを押す

オ　フ：字幕を表示しません。
日本語：日本語の字幕を表示します。
英　語：英語の字幕を表示します。



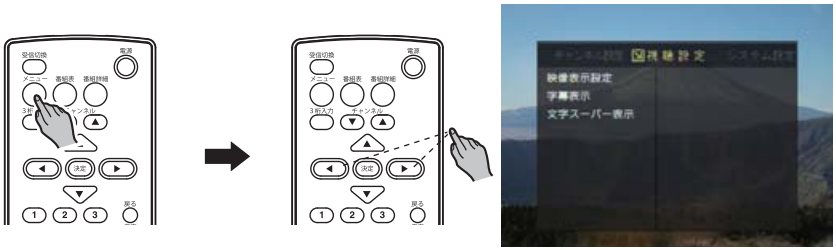
メモ
- 視聴中の番組に設定した言語の字幕が無かった場合、字幕は表示されません。

文字スーパーの表示／非表示、言語設定をする

文字スーパーの表示／非表示の設定を行うことができます。

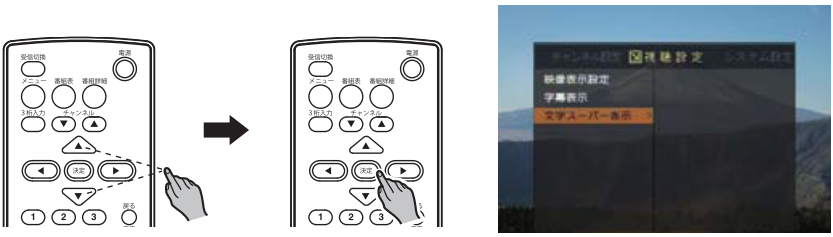
① メニューボタンを押し、カーソル左／右（◀/▶）ボタンで視聴設定を選択する

- 視聴設定項目がメニュー画面左側に表示されます。



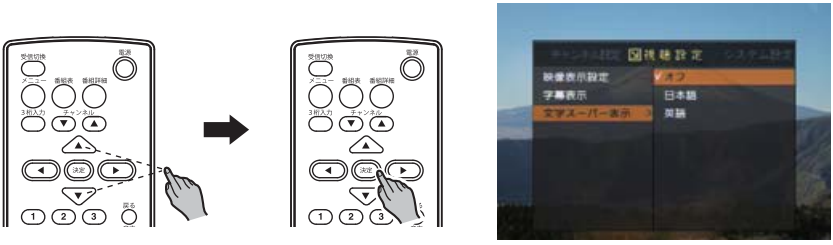
② カーソル上／下（▲/▼）ボタンで文字スーパー表示を選択し、決定ボタンを押す

- メニュー画面右側に設定項目および現在の設定状態が表示されます。



③ カーソル上／下（▲/▼）ボタンを押して設定項目を選択し、決定ボタンを押す

オ　フ：文字スーパーを表示しません。
日本語：日本語の文字スーパーを表示します。
英　語：英語の文字スーパーを表示します。



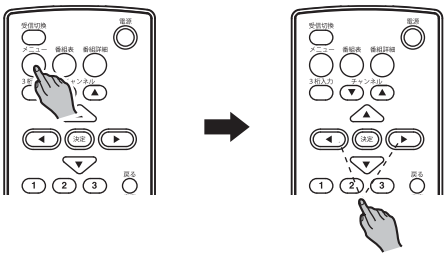
メモ
- 視聴中のチャンネルに設定した言語の文字スーパーが無かった場合、文字スーパーは表示されません。

本機のバージョンを表示する

本機のバージョンを表示します。

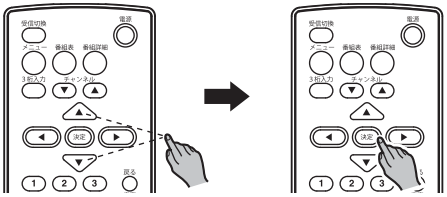
① メニューボタンを押し、カーソル左／右(◀/▶)ボタンでシステム設定を選択する

- システム設定項目がメニュー画面左側に表示されます。



② カーソル上／下(▲/▼)ボタンでバージョン表示を選択し、決定ボタンを押す

- メニュー画面右側にバージョン情報が表示されます。

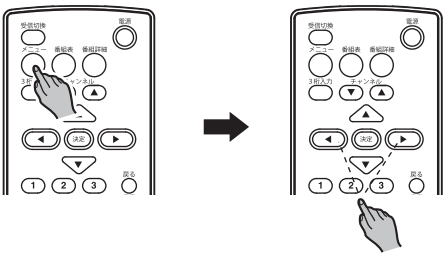


B-CAS カードの情報を表示する

本機に挿入されている B-CAS カードの情報を表示します。

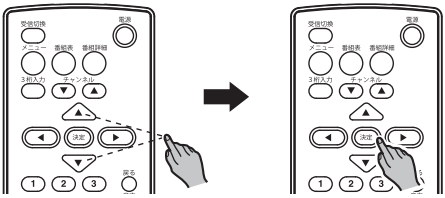
① メニューボタンを押し、カーソル左／右（◀/▶）ボタンでシステム設定を選択する

- システム設定項目がメニュー画面左側に表示されます。



② カーソル上／下（▲/▼）ボタンで B-CAS カードを選択し、決定ボタンを押す

- メニュー画面右側に B-CAS カードの情報が表示されます。

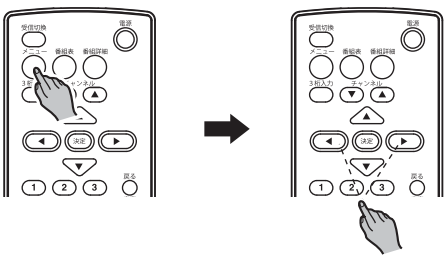


本機の設定内容を初期化する

本機の設定を工場出荷状態に戻します。

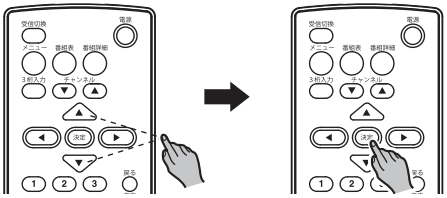
① メニューボタンを押し、カーソル左／右（◀/▶）ボタンでシステム設定を選択する

- システム設定項目がメニュー画面左側に表示されます。



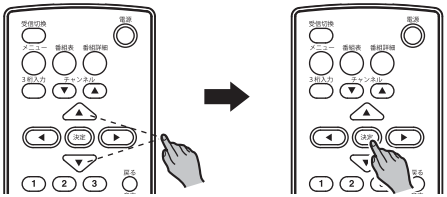
② カーソル上／下（▲/▼）ボタンで工場出荷設定を選択し、決定ボタンを押す

- メニュー画面右側に初期化確認画面が表示されます。



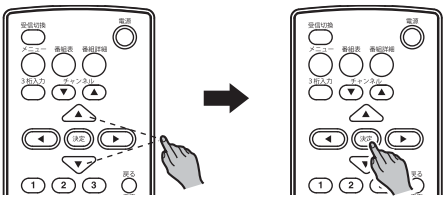
③ カーソル上／下（▲/▼）ボタンで「する」を選択し、決定ボタンを押す

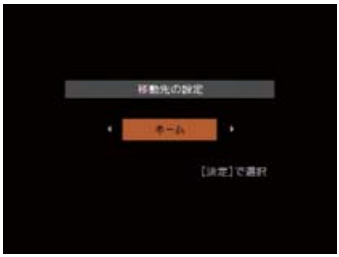
- メニュー画面右側に初期化最終確認画面が表示されます。



④ カーソル上／下（▲/▼）ボタンで「はい」を選択し、決定ボタンを押す

- 本機の設定内容が初期化されます。
- 設定初期化後は放送局を登録する画面になります。
- 放送局の登録のしかたは、「初めてお使いになるとき」（P19）の項を参照してください。





設置と接続について

⚠ 注 意

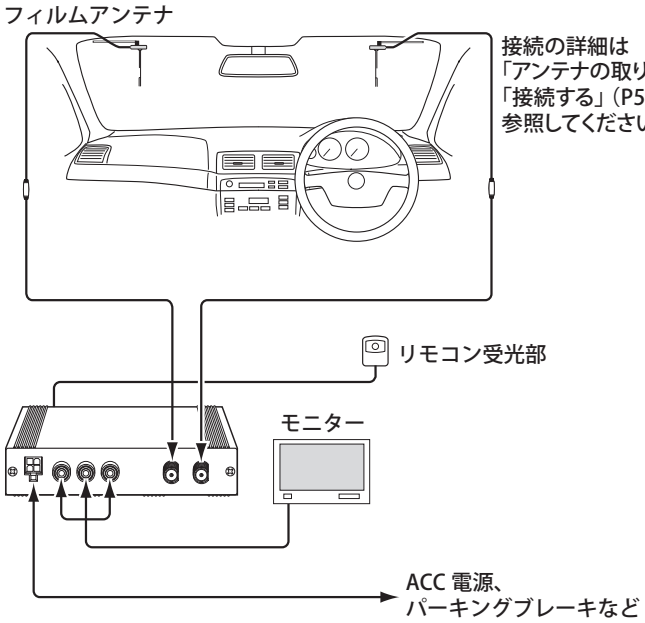
「安全上のご注意」(P3 ～ P6)をよくお読みの上、安全に、正しく設置・接続をしてください。設置や接続は専門的な知識が必要です。お買い上げの販売店などにご依頼ください。

⚠ アンテナ取り付け時点の注意事項

- 前方の視界を妨げる場所や、同乗者に危険を及ぼす場所には貼り付けないでください。事故やけがの原因となります。
- アンテナははがれないようにしっかりと貼り付けてください。走行中にはがれると事故やけがの原因となります。
- コードの引き回しの際はシートレールやドアに挟み込まないように注意してください。断線の原因となります。
- 付属品以外のアンテナは使用しないでください。故障の原因となります。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不適合ガラスなどの電波を通さないガラスを使用した車種の場合には受信感度が極端に低下します。その場合はお買い上げの販売店に確認してください。
- 車種によっては取り付けられない場合があります。販売店にご相談ください。
- 保安基準※に適合させるため、本書をよくお読みになり正しく取り付けてください。
  ※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第 29 条第 4 項第 6 号に対する、平成 15 年 9 月 26 日付けの運輸省(現、国土交通省)令第 95 号をいいます。
- 車室内に貼り付けるアンテナはエアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなることがありますが故障ではありません。
- フロントウィンドウ以外の場所には貼り付けないでください。
- 車種によっては貼り付けられない場所があります。その場合は販売店にご相談してください。
- フィルムアンテナの透明フィルムやアンプ裏面のはくり紙をはがした後は、給電端子などに手を触れないでください。静電気による故障や汗などの汚れで接触不良の原因となります。
- ピラーにフロントエアバッグを搭載している車種には貼り付けることができません。
- 必ずフロントウィンドウの指定された位置・寸法内に貼り付けてください。
- フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して取り扱ってください。
- 作業場所は風が無く、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低い時に作業を行う時は、接着力の低下を防ぐため車内にヒーターやデフロスタースイッチを ON にしてフロントウィンドウを暖めてから作業を行ってください。
- フロントウィンドウに他の TV アンテナ・ETC 受信部などから 100mm 以上離して貼り付けてください。このため指定の位置や寸法内に貼り付けられないことがあります。その場合は、お買い上げの販売店にご相談してください。
- 一度貼り付けてからはがすと粘着力が弱くなるので、貼り直しできませんので、必ずコードおよびフィルムアンテナを仮止めしコードの引き回しなどを十分に確認してから貼り付けてください。

設置とアンテナ取り付けの準備

設置したりアンテナを取り付ける前に、市販のテープなどで仮止めをしてアンテナや、接続コードの配線が正常にできることを確認してください。



次のような場所では映りにくいことがあります

- ビルとビルの間。
- 送電線が近くにある場所。
- 放送局から遠い場所。
- 山かげや木立のかげになる場所。
- 上空を飛行機が通過または、電車、自動車、バイクが近くを通過している場所。
- 高圧線、ネオンサインなどが近くにある場所。
- ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナが近くにある場所。

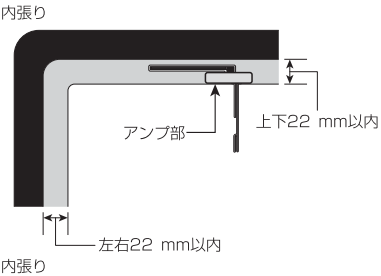
アンテナの取り付け

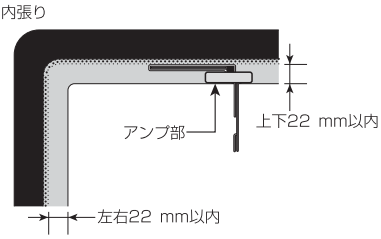
1. 貼り付け位置を決める

■取り付け許容範囲について

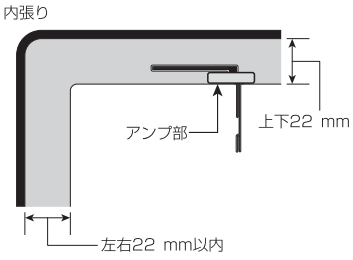
アンテナアンプ部は必ず取り付け許容範囲内（　　部）に取り付けてください。

●セラミックライン有り



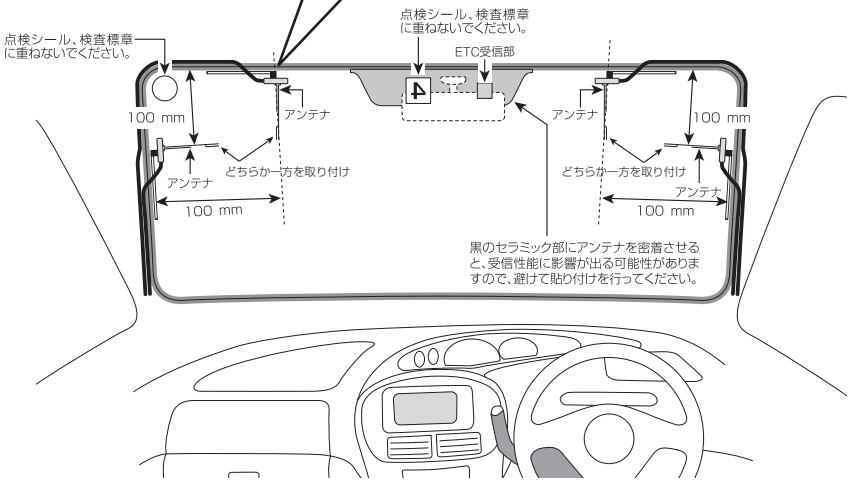


●セラミックライン無し



セラミックライン……

フロントウィンドウ端の黒い部分、
および黒いドット（点々のこと）部分



■上記記載寸法は基準寸法となります。

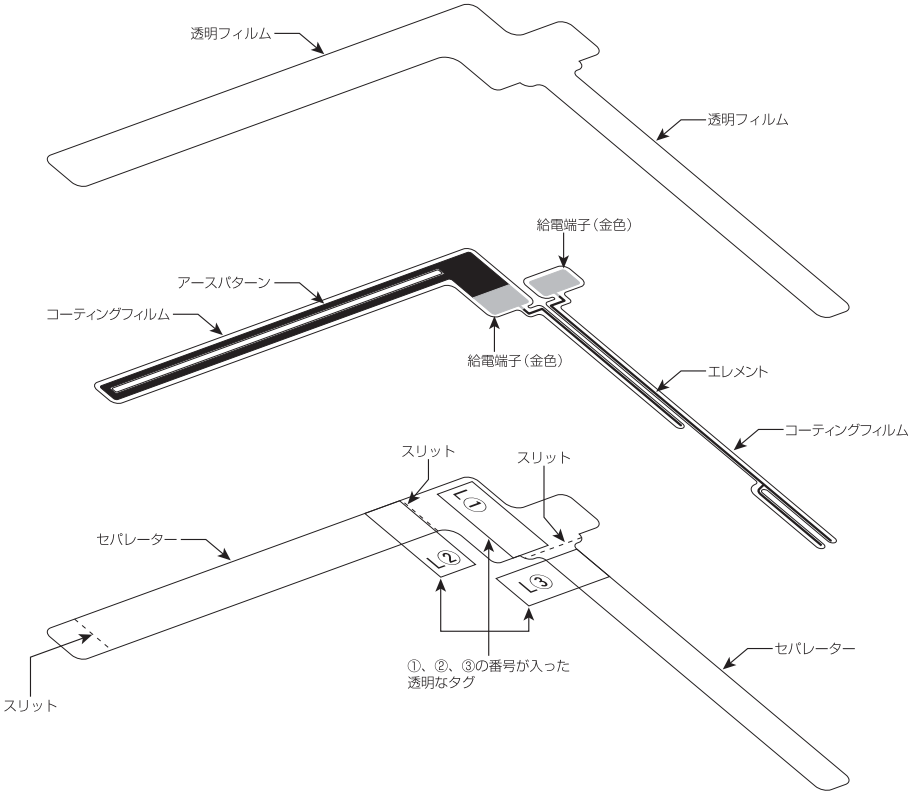
- 基準寸法に対応できない場合は出来るだけフロントガラスの端に貼り付けてください。
- 他の TV アンテナ・ETC 受信部などから 20mm 以上離して貼り付けてください。
- ウィンドウの上すみから下へ 100mm はなれた場所にアンテナを合わせて貼り付けてください。
- 他の TV アンテナ・ETC 受信部などから 100mm 以上離して貼り付けてください。

2. フロントガラスの内側の汚れを取り除く

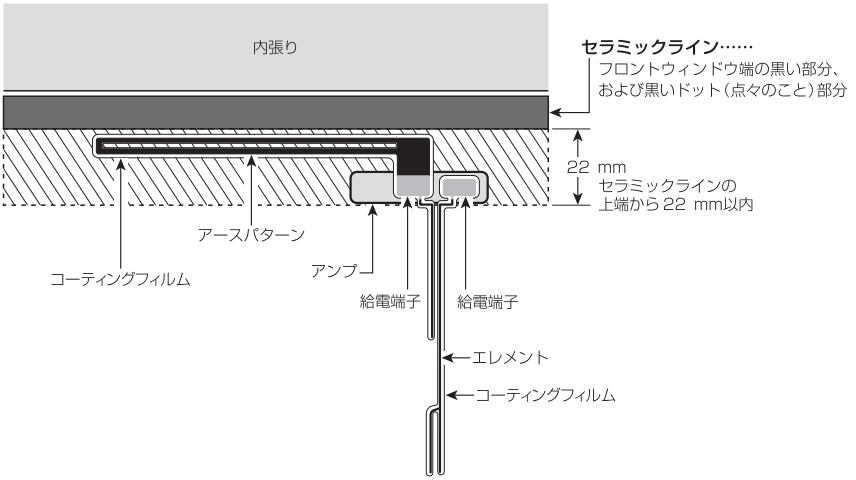
貼り付け場所のホコリ、油、ワックスなどを付属のクリーナーできれいにふき取り乾燥させてください。

3. フィルムアンテナの構成

- フィルムアンテナは 3 層に分かれています。
- エレメントは透明フィルムとセパレーターの間に挟まれています。
- エレメントの金色部が給電端子です。



4. 貼り付け許容範囲について



- 給電端子は必ず取り付け許容範囲内（▨部）に取り付けてください。
- フィルムアンテナ外周の一番上側をウィンドウガラスのセラミックラインの一番下側に合わせます。このように貼ると、給電端子がセラミックラインの上に張り付くことはありません。
- 貼り付け許容範囲外に取り付けると車検時に不適合となる可能性があります

5. フィルムアンテナをフロントウィンドウに貼り付ける

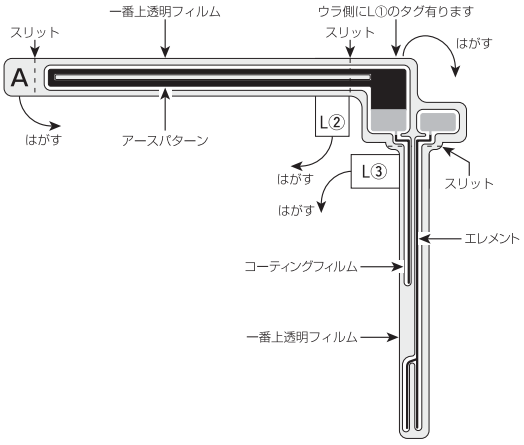
① セパレータは４つに分かれています。
給電端子のウラ側にあるＬ①のタグをつかんでセパレータをゆっくり剥がします。
貼り付け許容範囲を確認し、給電端子部分をフロントウィンドウに貼り付けます。

② Ｌ②のタグをつかんでセパレータをゆっくり剥がします。
アースパターン部をフロントウィンドウに貼り付けます。
この時、アースパターン部が折れたり曲がったりしない様にしてください。

③ Ｌ③のタグをつかんでセパレータをゆっくり剥がします。
エレメント部の上から指で軽くこすってください。

④ セパレータをはがし終えたら給電端子部とアースパターン部とエレメント部がフロントウィンドウにしっかりと張り付くように、透明フィルムの上から樹脂ヘラなどで丁寧にしごいてガラス面に貼り付けてください。（加圧が不足すると薄い色のブルーフィルムをはがす際に、エレメントがはがれたり、断線する恐れがあります。）

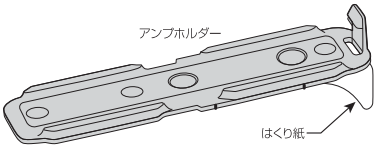
⑤ アースパターン部の左はじ（右図の場合Ａ部）を持ってゆっくりと透明フィルムをはがします。

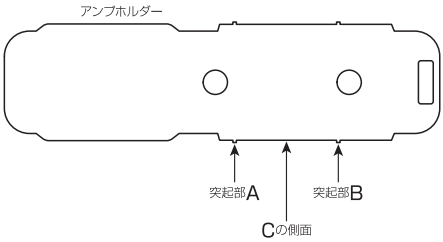


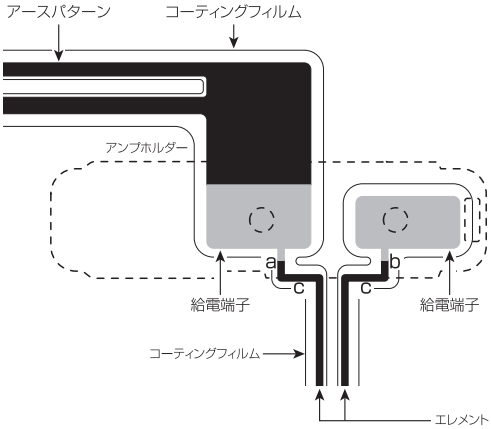
6. アンプをアンテナ給電部に貼り付ける

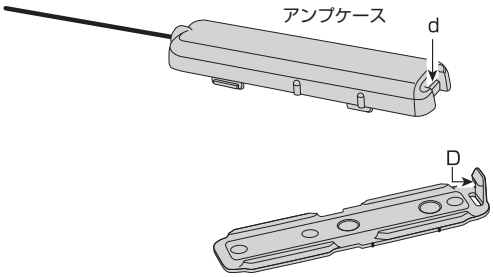
① アンプホルダーの裏面にある、はくり紙をはがします。
② アンプホルダーにある２つの突起部Ａ・Ｂとエレメントのａ・ｂが重なるように、またアンプホルダーのＣの側面とエレメントのｃと重なるようにアンプホルダーを置きます。
③ アンプホルダーのツメ部Ｄとアンプケースのｄを合わせアンプケースをかぶせます。
④ アンプケースを強く押し、「カチッ」と音がすることをご確認してください。

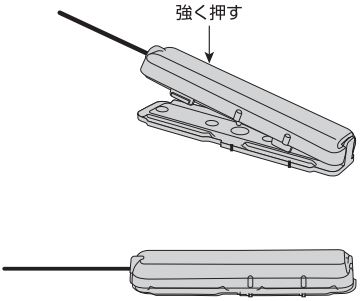
メモ
- 出荷時は「アンプホルダー」にあらかじめ「アンプケース」が取り付けられております。





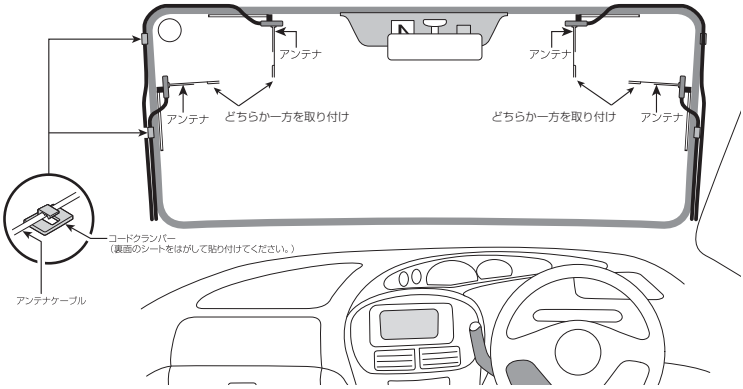






7. アンテナケーブルの配線

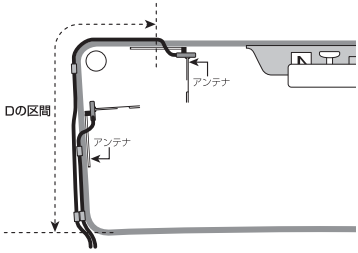
アンテナケーブルはコードクランパで固定しながら配線します。
アンテナケーブルの配線は右図を参考にしてください。

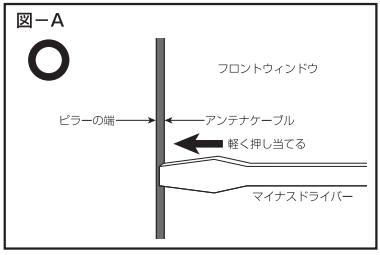


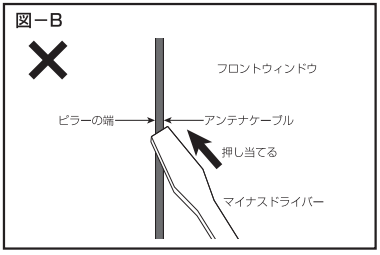
※安全な視野が確保できるようにアンテナケーブルを配線してください。

■ケーブル配線のご注意

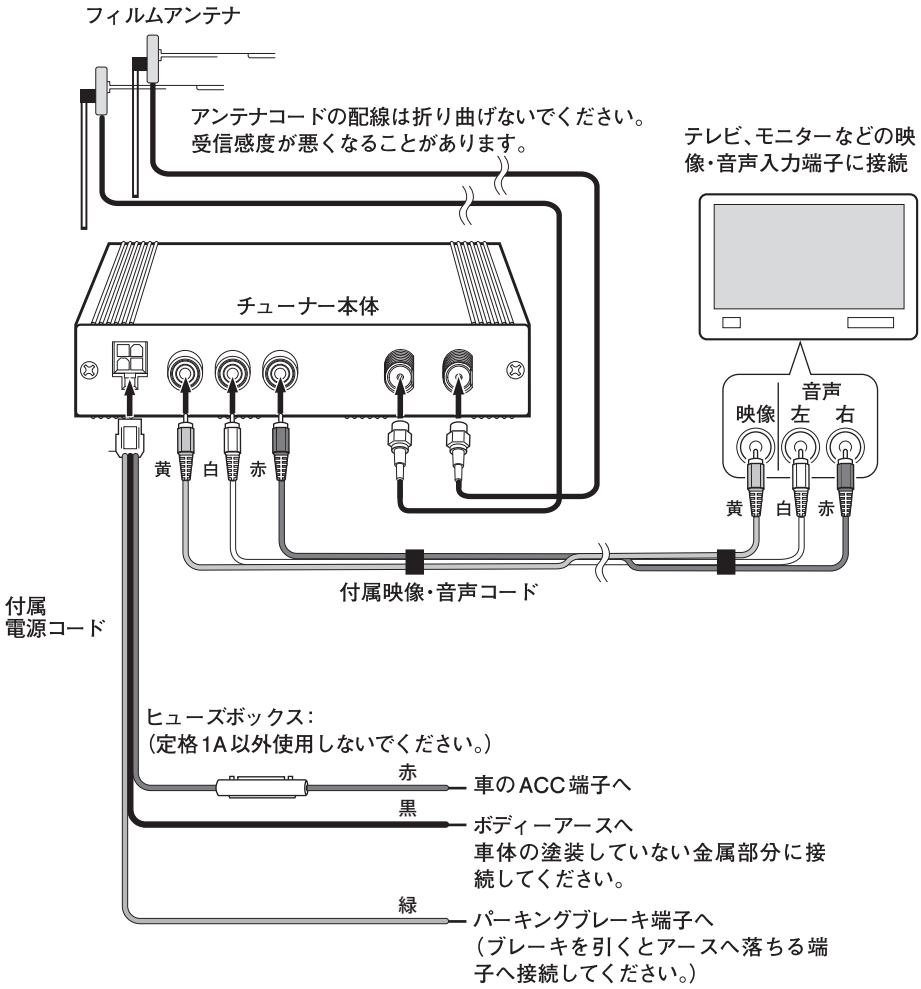
- アンテナケーブルをピラー（Dの区間）の端から奥に押し込む場合は、下記の寸法以上の工具をご使用ください。
  推奨工具：マイナスドライバー（先端部分は、幅：6mm 以上、厚み：1mm 以上）又は、相当品の工具をとしてください。
  ※絶対に先端部分が鋭利な工具で、アンテナケーブルを強い力で無理やりに押し込むような作業は避けてください。このような作業を行った場合、アンテナコードが破損（断線）する可能性があります。
- 推奨工具を使用しアンプの根元（アンプ下側のガイド）から、アンテナケーブルに対して平行になるように推奨工具を軽く押し当てて（図－A）、ゆっくりと徐々に力を加えてピラーの端から置くへ、真っすぐにアンテナケーブルを押し込むように作業してください。
- アンテナケーブルをピラーの端から奥に押し込む場合は、工具（推奨する規格のマイナスドライバー）の先端部分が、直交（十字、図－B）になるような押し当ての、押し込みはしないでください。
  ※このような作業を行った場合、アンテナケーブルが破損（断線）する可能性があります。



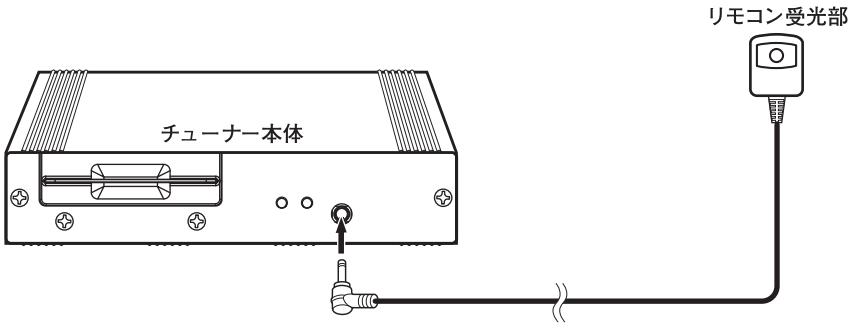




本体後面


フィルムアンテナ
アンテナコードの配線は折り曲げないでください。
受信感度が悪くなることがあります。
テレビ、モニターなどの映像・音声入力端子に接続
チューナー本体
音声
映像
左
右
黄
白
赤
黄
白
赤
付属映像・音声コード
付属
電源コード
ヒューズボックス:
(定格1A以外使用しないでください。)
赤
車のACC端子へ
黒
ボディーアースへ
車体の塗装していない金属部分に接続してください。
緑
パーキングブレーキ端子へ
(ブレーキを引くとアースへ落ちる端子へ接続してください。)

本体前面

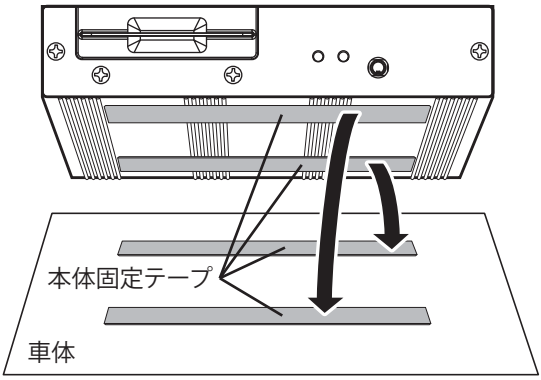


ご注意

- 取り付けの際は、車のキースイッチを OFF の状態で、バッテリーのー端子を外しておこなってください。
- 配線や設置は運転に支障がないよう、安全に十分ご注意ください。
- 各端子はしっかりと差し込んでください。差し込みが不完全だと音声や映像が消えたり、電源が切れることがあります。
- 電源端子はカチッと音がするまで差し込んで外れないことを確認してください。

本体の取り付け方法

付属の本体固定テープで、しっかり動かないように固定してください。



ご注意

- 本体を取り付ける場所は、フロアーマットやその他のもので本体が覆われる場所は避けてください。本体内部に熱がこもり、本体の不具合や故障の原因になることがあります。
- 本体を取り付けようとする車内の場所に油や汚れが付着していると、本体を取り付ける充分な強度がえられません。付着している油や汚れを出来る限り除去してください。

こんなメッセージが表示されたときは

画面に以下のエラーメッセージが表示された場合は、放送を視聴できません。

メッセージ	原因	処置
信号が受信できません アンテナ線および設定を確認してください	フィルムアンテナが正しく接続されていない。	フィルムアンテナの接続を確認してください。
	受信レベルが低下して放送が受信できない。	受信可能な場所に移動してください。 送信所から近くても建物の陰など受信できない場合があります。
	チャンネル設定がされていない。	チャンネル設定を行ってください。 (P30、P32)
休止中 放送時間を確認してください	選局しているチャンネルの放送が終了しています。	番組表などで放送時間を確認し、放送中のチャンネルへ選局するか放送が開始されるまでお待ちください。
このボタンにチャンネルは設定されていません	押下したリモコンキーにチャンネルが登録されていません。	リモコン割り当て一覧(P39)で登録されているリモコンキーを確認してください。
不正なチャンネル番号です 正しいチャンネル番号を入力して下さい	存在しないチャンネルまたは本機では受信できないチャンネルを選局しています。	チャンネル一覧(P38)で受信可能なチャンネルを確認してください。
B-CAS カードが挿入されていません B-CAS カードを正しく挿入して下さい	B-CAS カードが装着されていません。	B-CAS カードを正しく挿入してください。
B-CAS カードが使用できません	B-CAS カードが逆に挿入されています。	B-CAS カード(P13) を参考に表裏、前後を確認して正しく挿入してください。
B-CAS カードが使用できません カード裏に書かれたカスタマーセンターに連絡して下さい	B-CAS カードが故障しています。	カスタマーセンターにご連絡ください。 (株)ビーエス・コンディショナル アクセスシステムズ カスタマーセンター TEL.0570-000-250
アンテナ電源がショートしています アンテナの接続を確認してください	フィルムアンテナのアンプ部が正しく取付られていない可能性があります。	本機の電源をお切りになり(ACC オフ)、販売店または弊社サポートセンター(TEL.0570-030-100)にご相談ください。
	フィルムアンテナが故障した可能性があります。	

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に以下の項目を確認してください。
それでもなお異常があるときは使用を中止して、トライウイン・サポートセンター（電話：0570-030-100）までご連絡ください。

症状	原因	処置
映像も、音声も出ない	電源用コード、リモコン受光部は正しく接続されていますか？	接続を確認してください。
	車のエンジンはかけていますか？	エンジンをかけてください。
	電源がきれていませんか？	リモコンの電源ボタンを押してください。
	本機とモニターが正しく接続されていますか？	接続を確認してください。
	モニターの電源がオンになっていますか？	モニターの電源をオンにしてください。
映像が出ない	パーキングブレーキをかけていますか？	正しく接続されている場合、パーキングブレーキをかけないと TV 映像は出ません。 ※メニュー等は表示されます。
ワンセグしか受信できない	B-CAS カードは入っていますか？　または、正しく挿入されていますか？	B-CAS カードが正しく挿入されていないと地デジは受信できません。この場合はワンセグのみの受信となります。B-CAS カードを正しく挿入してください。
音声が出ない	モニターの音量調整が最小になっていませんか？	モニターの音量調整をしてください。
	モニターが消音になっていませんか？	モニターの消音設定を解除してください。
リモコンで操作できない	リモコン受光部は正しく接続されていますか？	接続を確認してください。
	リモコンに電池は入っていますか？	リモコンに電池を入れてください。
	リモコンの電池が消耗していませんか？ または極性が間違っていませんか？	リモコン電池を交換してください。または極性を正しく入れ直してください。
	リモコンと受光部の間に障害物がありませんか？	障害物などのない状態で 3m 以内で操作してください。
	妨害電波などで操作ができなくなる場合があります。	一度、本機の電源を切り（ACC オフ）、再度、本機の電源をオン（ACC オン）にしてください。
データ放送が受信できない	本機ではデータ放送は受信できません。	―

仕様

【本体】

品名	車載用地上デジタルチューナー
型番	DTF-9000
放送方式	地上デジタル放送（ワンセグ対応、日本国内専用）
受信チャンネル	13 cH ～ 62 cH（UHF）
接続端子	アンテナ入力端子 ： 専用コネクター 出力端子 / レベル ： RCA 端子 映像：1.0 Vp-p/ 音声：500 mVrms 電源端子 ： 専用コネクター リモコン端子 ： 3.5 φ ー 4 極ジャック
電源電圧	DC 12 V（マイナスアース車専用）
消費電力	6.5 W（動作時）
動作保証温度範囲	5 ℃～ +50 ℃
外形寸法	143（W）× 29（H）× 110（D）mm（突起部を除く）
質量	約 377 g（本体のみ）

【リモコン】

使用電源	DC 3 V（CR2025 × 1）
操作距離	リモコン受光部正面から約 3m 以内
外形寸法	52.0（W）× 110.0（H）× 8.6（D）mm
質量	約 37 g（電池を含む）

本機の仕様、デザインは改善のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービスについて

■ 保証期間について

本機の保証期間はお買い上げ後 1 年間です。
保証期間中は保証規定に従って修理させていただきます。
保証期間外でも修理により機能が維持できる場合はお客様のご要望により有償修理させていただきます。

■ 修理に関するご相談窓口

受付時間をご確認の上、トライウイン・サポートセンター（電話：0570-030-100）にご連絡ください。

受付時間：月曜日～金曜日（祝日および当社の休日を除く）10：00 ～ 18：00

保証書

型名：DTF-9000	販売店名・住所・電話番号
お買い上げ日 年　月　日	
保証期間（お買い上げ日から） **1年間**	

お客様	お名前
	電話番号： ご住所　：（〒　　-　　）

※太線枠内はお客様にてご記入願います。

〈無償修理規定〉

取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には無償修理をさせていただきます。原則的に持込修理となります。
無償修理をご依頼になる場合には、商品に本書を添えていただき、お買い上げの販売店または、トライウイン・サポートセンターまでお申し付けください。
保証期間内でも次の場合には原則として有償とさせていただきます。

（イ）使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の取り扱いの不備、落下などによる故障、および損傷。
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変および公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定以外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
（ニ）本書のご添付がない場合。
（ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句などを書き替えられた場合。
（ヘ）持込修理の対象商品を直接窓口へ送付した場合の送料等は、お客様のご負担となります。

本書は国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
本体の故障および損傷により、お客様が作成されたデータの総てまたは一部が破損もしくは修復不可能になりましても、一切保証致しませんので、ご了承ください。お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無償修理対応および、その後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、トライウイン・サポートセンターまでお問い合わせください。

販売元：株式会社トライウイン

＜修理・お問い合わせ窓口＞
トライウイン・サポートセンター
〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 1-677
TEL:(0570)-030-100
E-mail:support@trywin.co.jp

Printed in China　　DTF9000-001-A